

令和3年度 学校評価集計

(1) 学校評価の結果報告(成果と今後の課題)

○ 本校全職員	P 1 ~ 2
○ グラフ	P 3
<hr/>	
○ 幼稚部職員	P 4 ~ 5
○ 幼稚部保護者	P 6
○ グラフ	P 7
<hr/>	
○ 小学部職員	P 8 ~ 9
○ 小学部保護者・小学部児童(5年以上)	P 10~11
○ グラフ	P 12
<hr/>	
○ 中学部職員	P 13~14
○ 中学部保護者・中学部生徒	P 15~16
○ グラフ	P 17
<hr/>	
○ 高等部職員	P 18~19
○ 高等部保護者・高等部生徒	P 20~21
○ グラフ	P 22
<hr/>	
○ 分教室職員	P 23~24
○ 分教室保護者(※児童については対象者少数のため統計なし)	P 25
○ グラフ	P 26
<hr/>	
○ 寄宿舍	P 27~28
○ グラフ	P 29
<hr/>	
○ 事務室	P 30
○ グラフ	P 31
<hr/>	

(2) 実施期間

前期：令和3年 7月12日(月)～ 7月21日(水)

対象：教職員

後期：令和3年11月24日(水)～12月10日(金)

対象：教職員、児童生徒(小学部5年以上)、保護者

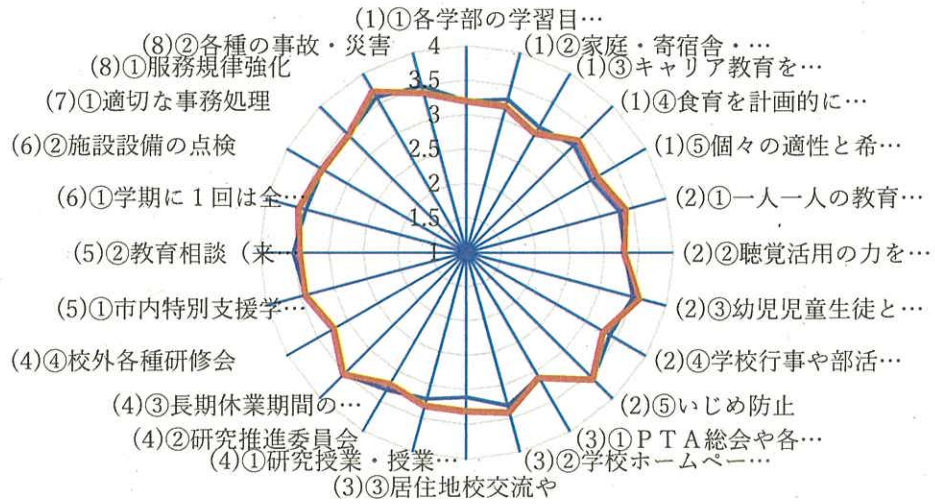
令和3年度 長崎県立ろう学校 学校評価 集計表(本校全 後期)

学校教育目標	○基本的人権を尊重し、幼児児童生徒の特性や発達段階、教育的ニーズに応じて幼稚部から高等部まで一貫した教育を行うことにより、健康で明るく心豊かな人間を育成する。 ○聴覚障害による学習または生活上の困難を改善克服することにより、生きる力を高め自立し積極的に社会参加できる力を培う。			
学校経営目標	① 各部間及び寄宿舎との連携を深め、社会自立と希望進路の実現のため、幼稚部から高等部専攻科まで一貫した教育を推進し、確かな学力とコミュニケーション力を基礎に、生きる力を育成する。 ② 一人一人の個性を伸ばし、豊かな人間性の育成に努め、明るく元気な特色ある学校づくりを推進する。 ③ 関係機関や地域・保護者と密に連携し、教育実践の深化を図る。 ④ 教職員の専門性及び指導力の向上に努める。 ⑤ 特別支援教育のセンター的機能の充実に努める。 ⑥ 施設・設備の整備を進め、幼児児童生徒及び職員の安全確保と教育環境の充実に努める。 ⑦ 業務負担の適正化を図る。 ⑧ コンプライアンスを徹底する。			
4：十分達成している 3：おおむね達成している 2：どちらかという達成されていない 1：ほとんど達成されていない ※(1)と(2)は該当学部について評価する。評価(3)～(7)は学校全職員で評価する。				
目標達成のための主な取組	点数	評価%		今後に向けての課題
		前期	後期	
(1)社会自立と希望進路の実現について				
①各学部の学習目標の達成を目指し、授業改善と指導の充実に努め、確かな学力を育成する。 (評価点 前期 3.2 / 後期 3.2)	4	22	18	
	3	77	81	
	2	2	2	
	1	0	0	
②家庭・寄宿舎・学校と連携し、児童生徒の基本的な生活習慣及び学習習慣の確立を図る。 (評価点 前期 3.3 / 後期 3.2)	4	28	26	
	3	68	69	
	2	3	3	
	1	0	2	
③キャリア教育を重視し、職業・就労に関する意識の啓発や意欲及び働く力の育成を図る。 (評価点 前期 3.1 / 後期 3.0)	4	23	19	幼稚部から高等部までの系統的なキャリア形成を図るための対策を検討する。(キャリア支援部) ・学部を越えた教職員間の共通理解 ・家庭や地域との連携 ・キャリアパスポートの活用
	3	62	66	
	2	15	15	
	1	0	0	
④食育を計画的に実践し、食への関心及び心身の成長や健康の保持・増進への意識を高める。 (評価点 前期 3.2 / 後期 3.3)	4	33	34	
	3	57	61	
	2	10	5	
	1	0	0	
⑤個々の適性と希望に応じた進路選択を目指し、児童生徒及び幼稚部を含む保護者へのガイダンスに努める。 (評価点 前期 3.1 / 後期 3.2)	4	22	31	中学部・高等部で課題としている教員がいる。 中学部、高等部で実施している進路学習や職場実習等での成果と課題から、どのような取組が必要かを検討し、学校全体で共有し、学部ごとに取組内容を検討する。(キャリア支援部)
	3	69	58	
	2	8	11	
	1	0	0	
(2)個性の伸長と、豊かな人間性の育成および明るく元気な学校づくりについて				
①一人一人の教育的ニーズを把握し、個別的教育支援計画や個別の指導計画の活用を通じて、個に応じた指導の充実に努める。 (評価点 前期 3.3 / 後期 3.4)	4	35	42	
	3	63	58	
	2	2	0	
	1	0	0	
②聴覚活用の力を最大限に伸ばし、言語力、コミュニケーション力を高め、確かな日本語の獲得を目指す。 (評価点 前期 3.3 / 後期 3.3)	4	34	38	ろう学校の聴覚活用、発音発語指導、言語指導の基本的な指導力の向上を図る。(自立活動部) 発達段階に応じたコミュニケーション力、対人スキルの向上を図る。(各部)
	3	65	56	
	2	2	6	
	1	0	0	
③幼児児童生徒と教職員が挨拶を交わし、コミュニケーションの基礎をつくる。 (評価点 前期 3.5 / 後期 3.6)	4	55	60	
	3	40	38	
	2	5	2	
	1	0	0	
④学校行事や部活動の活性化、及び道徳教育を含む日常の教育活動を通じて、豊かな人間性の育成に努める。 (評価点 前期 3.4 / 後期 3.3)	4	37	38	
	3	61	56	
	2	2	6	
	1	0	0	
⑤いじめ防止については子どもたちへの定期的なアンケートを実施し、実態把握を行う。また、気になる子どもたちへの相談や聞き取りを行い、いじめの未然防止に努める。 (評価点 前期 3.6 / 後期 3.6)	4	58	58	
	3	42	42	
	2	0	0	
	1	0	0	

目標達成のための主な取組	点数	評価%		今後に向けての課題
		前期	後期	
(3)関係機関や地域・保護者との連携強化について				
①PTA総会や各部保護者会の出席率を高め、学校の教育方針の周知・理解を促進し、連携の基礎をつくる。 (評価点 前期 3.1 / 後期 3.1)	4	24	16	・研修会や学習会になると参加率が下がる傾向にある。 ・授業参観や行事と合わせて実施したり、事前の打ち合わせやアンケート等で保護者のニーズを把握して保護者会を企画する。
	3	66	81	
	2	10	3	
	1	0	0	
②学校ホームページ等を通じて、情報の発信に努める。 (評価点 前期 3.3 / 後期 3.4)	4	36	39	
	3	62	60	
	2	2	2	
	1	0	0	
③居住地校交流や近隣の学校等との交流を進め、幼児児童生徒の地域との交流を進める。 (評価点 前期 3.1 / 後期 3.3)	4	27	37	
	3	59	60	
	2	14	3	
	1	0	0	
(4)教職員の専門性及び指導力の向上について				
①研究授業・授業研究を計画的に実施し、授業改善および学部間の交流を図る。 (評価点 前期 3.2 / 後期 3.3)	4	26	34	
	3	66	60	
	2	8	6	
	1	0	0	
②研究推進委員会を中心に、全職員による校内研究を計画的に進める。 (評価点 前期 3.3 / 後期 3.2)	4	31	29	
	3	64	66	
	2	5	5	
	1	0	0	
③長期休業期間を中心に、外部講師を招聘し研修を実施する。 (評価点 前期 3.5 / 後期 3.5)	4	46	45	
	3	54	55	
	2	0	0	
	1	0	0	
④校内外で実施される各種研修会に積極的に参加する。 (評価点 前期 3.2 / 後期 3.2)	4	20	26	
	3	77	69	
	2	3	5	
	1	0	0	
(5)特別支援教育のセンター的機能の充実について				
①市内特別支援学校コーディネーターによる協議会及び大村地区特別支援教育連絡協議会において積極的な役割を果たす。 (評価点 前期 3.4 / 後期 3.4)	4	42	36	
	3	58	64	
	2	0	0	
	1	0	0	
②教育相談(本校・派遣)を充実させ、聴覚障害のある子どもに対する地域の支援センターとしての役割を果たす。 (評価点 前期 3.5 / 後期 3.4)	4	51	44	
	3	46	54	
	2	3	2	
	1	0	0	
(6)施設・設備の整備と教育環境の充実について				
①学期に1回は全校の安全点検を行い、安全の確保に努める。 (評価点 前期 3.4 / 後期 3.5)	4	49	55	
	3	44	43	
	2	5	2	
	1	2	0	
②施設設備の点検を徹底し、必要に応じて迅速な補修・営繕に努める。 (評価点 前期 3.4 / 後期 3.4)	4	43	46	
	3	52	52	
	2	5	2	
	1	0	0	
(7)業務負担の適正化について				
③適切な事務処理に努め、透明性の確保を徹底する。 (評価点 前期 3.4 / 後期 3.4)	4	41	44	
	3	57	56	
	2	2	0	
	1	0	0	
(7)コンプライアンスの徹底について				
①服務規律強化月間の取組を中心に、服務規律の保持・徹底に努める。 (評価点 前期 3.6 / 後期 3.7)	4	63	68	
	3	37	32	
	2	0	0	
	1	0	0	
②各種の事故・災害に備えるため、危機管理マニュアルを点検・整備し、必要な訓練を実施する。 (評価点 前期 3.5 / 後期 3.4)	4	48	44	
	3	52	56	
	2	0	0	
	1	0	0	

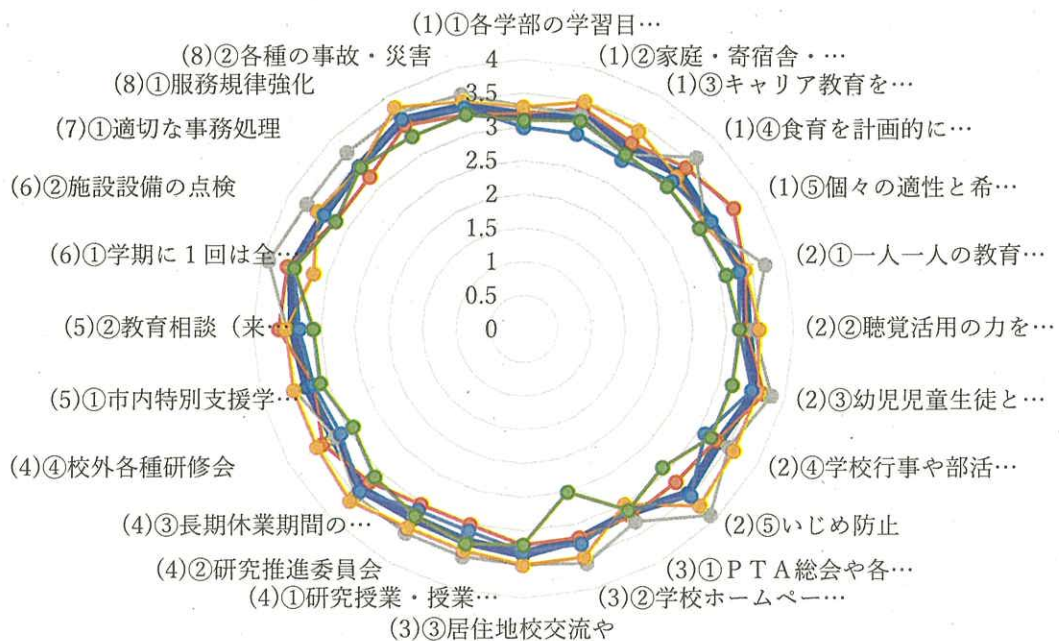
本校全

— 評価点 前期 — 評価点 後期



総括

● 全校平均 ● 幼稚部 ● 小学部 ● 中学部 ● 高等部 ● 分教室



令和3年度 長崎県立ろう学校 学校評価 集計表(幼 後期)

学校教育目標	○基本的人権を尊重し、幼児児童生徒の特性や発達段階、教育的ニーズに応じて幼稚部から高等部まで一貫した教育を行うことにより、健康で明るく心豊かな人間を育成する。 ○聴覚障害による学習または生活上の困難を改善克服することにより、生きる力を高め自立し積極的に社会参加できる力を培う。			
学校経営目標	① 各部門及び寄宿舎との連携を深め、社会自立と希望進路の実現のため、幼稚部から高等部専攻科まで一貫した教育を推進し、確かな学力とコミュニケーション力を基礎に、生きる力を育成する。 ② 一人一人の個性を伸ばし、豊かな人間性の育成に努め、明るく元気な特色ある学校づくりを推進する。 ③ 関係機関や地域・保護者と密に連携し、教育実践の深化を図る。 ④ 教職員の専門性及び指導力の向上に努める。 ⑤ 特別支援教育のセンター的機能の充実を図る。 ⑥ 施設・設備の整備を進め、幼児児童生徒及び職員の安全確保と教育環境の充実に努める。 ⑦ 業務負担の適正化を図る。 ⑧ コンプライアンスを徹底する。			
幼稚部努力目標	① 教育内容に基づいた計画的な環境をつくることで、生活の中で直接的・具体的な体験を通して豊かな感性と心身の調和的発達を促し、人間形成の基礎を培う。 ② 聴覚活用の力を最大限に伸ばすとともに、幼児一人一人応じたコミュニケーション手段を積極的に使いながら、生活言語の習得・拡充を図る。 ③ 保護者や関係機関との連携により聴覚障害児・幼児の理解を深め、効果的に教育活動を展開する。 ④ 授業研究や専門性の研修を行い、個々の教師の指導力の向上と教職員間の共通理解を図る。 ⑤ 乳・幼児を中心とした早期からの教育相談・支援機能の充実を図り、聴覚障害教育のセンター的役割を果たす。 ⑥ 安全点検や校内美化活動を行い、施設設備の整備と教育関係の充実を図る。			
4：十分達成している 3：おおむね達成している 2：どちらかという達成されていない 1：ほとんど達成されていない ※ (1)と(2)は該当学部について評価する。評価(3)～(7)は学校全職員で評価する。				
目標達成のための主な取組	点数	評価% 前期 後期		今後に向けての課題
(1)社会自立と希望進路の実現について				
①各学部の学習目標の達成を目指し、授業改善と指導の充実に努め、確かな学力を育成する。 (評価点 前期 3.2 / 後期 3.2)	4	20	20	
	3	80	80	
	2			
	1			
②家庭・寄宿舎・学校と連携し、児童生徒の基本的な生活習慣及び学習習慣の確立を図る。 (評価点 前期 3.2 / 後期 3.4)	4	20	40	
	3	80	60	
	2			
	1			
③キャリア教育を重視し、職業・就労に関する意識の啓発や意欲及び働く力の育成を図る。 (評価点 前期 3.0 / 後期 3.2)	4		20	
	3	100	80	
	2			
	1			
④食育を計画的に実践し、食への関心及び心身の成長や健康の保持・増進への意識を高める。 (評価点 前期 3.0 / 後期 3.4)	4		40	
	3	100	60	
	2			
	1			
⑤個々の適性と希望に応じた進路選択を目指し、児童生徒及び幼稚部を含む保護者へのガイダンスに努める。 (評価点 前期 3.0 / 後期 3.6)	4		60	
	3	100	40	
	2			
	1			
(2)個性の伸長と、豊かな人間性の育成および明るく元気な学校づくりについて				
①一人一人の教育的ニーズを把握し、個別的教育支援計画や個別の指導計画の活用を通じて、個に応じた指導の充実に努める。 (評価点 前期 3.4 / 後期 3.4)	4	40	40	
	3	60	60	
	2			
	1			
②聴覚活用の力を最大限に伸ばし、言語力、コミュニケーション力を高め、確かな日本語の獲得を目指す。 (評価点 前期 3.3 / 後期 3.3)	4	33	33	
	3	67	67	
	2			
	1			
③幼児児童生徒と教職員が挨拶を交わし、コミュニケーションの基礎をつくる。 (評価点 前期 3.5 / 後期 3.7)	4	50	67	
	3	50	33	
	2			
	1			
④学校行事や部活動の活性化、及び道徳教育を含む日常的教育活動を通じて、豊かな人間性の育成に努める。 (評価点 前期 3.2 / 後期 3.3)	4	17	50	豊かな人間性を育むよう、年齢や実態に応じた日々の教育活動の工夫や行事の活性化を図っていききたい。
	3	83	33	
	2		17	
	1			
⑤いじめ防止については子どもたちへの定期的なアンケートを実施し、実態把握を行う。また、気になる子どもたちへの相談や聞き取りを行い、いじめの未然防止に努める。 (評価点 前期 3.0 / 後期 3.2)	4		20	
	3	100	80	
	2			
	1			

目標達成のための主な取組	点数	評価%		今後に向けての課題
		前期	後期	
(3)関係機関や地域・保護者との連携強化について				
①PTA総会や各部保護者会の出席率を高め、学校の教育方針の周知・理解を促進し、連携の基礎をつくる。 (評価点 前期 3.0 / 後期 3.2)	4		20	
	3	100	80	
	2			
	1			
②学校ホームページ等を通じて、情報の発信に努める。 (評価点 前期 3.2 / 後期 3.2)	4	20	20	
	3	80	80	
	2			
	1			
③居住地校交流や近隣の学校等との交流を進め、幼児児童生徒の地域との交流を進める。 (評価点 前期 3.2 / 後期 3.2)	4	20	20	
	3	80	80	
	2			
	1			
(4)教職員の専門性及び指導力の向上について				
①研究授業・授業研究を計画的に実施し、授業改善および学部間の交流を図る。 (評価点 前期 3.0 / 後期 3.0)	4			全校研究での研究授業や授業研を行い、長南先生からも講評をいただき、指導の参考にすることができた。また、幼稚部の教育活動を他学部にも知らせることができた。
	3	100	100	
	2			
	1			
②研究推進委員会を中心に、全職員による校内研究を計画的に進める。 (評価点 前期 3.0 / 後期 3.0)	4			研究計画に基づいて進めた。負担が偏らないよう配慮していきたい。
	3	100	100	
	2			
	1			
③長期休業期間を中心に、外部講師を招聘し研修を実施する。 (評価点 前期 3.2 / 後期 3.2)	4	20	20	
	3	80	80	
	2			
	1			
④校内外で実施される各種研修会に積極的に参加する。 (評価点 前期 2.8 / 後期 3.4)	4		40	
	3	80	60	
	2	20		
	1			
(5)特別支援教育のセンター的機能の充実について				
①市内特別支援学校コーディネーターによる協議会及び大村地区特別支援教育連絡協議会において積極的な役割を果たす。 (評価点 前期 3.4 / 後期 3.2)	4	40	20	
	3	60	80	
	2			
	1			
②教育相談(本校・派遣)を充実させ、聴覚障害のある子どもに対する地域の支援センターとしての役割を果たす。 (評価点 前期 3.6 / 後期 3.6)	4	60	60	
	3	40	40	
	2			
	1			
(6)施設・設備の整備と教育環境の充実について				
①学期に1回は全校の安全点検を行い、安全の確保に努める。 (評価点 前期 3.2 / 後期 3.6)	4	20	60	
	3	80	40	
	2			
	1			
②施設設備の点検を徹底し、必要に応じて迅速な補修・営繕に努める。 (評価点 前期 3.4 / 後期 3.2)	4	40	20	
	3	60	80	
	2			
	1			
(7)業務負担の適正化について				
③適切な事務処理に努め、透明性の確保を徹底する。 (評価点 前期 3.2 / 後期 3.2)	4	20	17	
	3	80	83	
	2			
	1			
(8)コンプライアンスの徹底について				
①服務規律強化月間の取組を中心に、服務規律の保持・徹底に努める。 (評価点 前期 3.3 / 後期 3.5)	4	33	50	
	3	67	50	
	2			
	1			
②各種の事故・災害に備えるため、危機管理マニュアルを点検・整備し、必要な訓練を実施する。 (評価点 前期 3.0 / 後期 3.3)	4		33	
	3	100	67	
	2			
	1			

令和3年度 長崎県立ろう学校学校評価保護者アンケート 4人/4人 回収率 100%

(幼 稚) 部

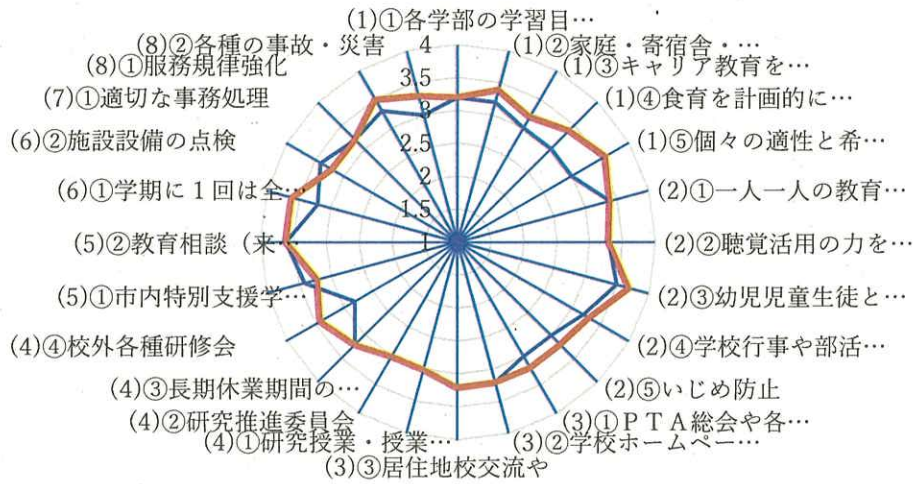
評価の欄に、下記の4~1を基準にして、あてはまる部分の欄に○を付けてください。

4:良くあてはまる 3:ややあてはまる 2:あまりあてはまらない 1:まったくあてはまらない

具体的評価内容		評 価 %				評価	到達度(十分達成◎、概ね達成○課題あり△)
		4	3	2	1		
教育活動全般について							
1	学校は教育方針や各部の目標、特色ある教育活動を伝えてくれる。	75%	25%			3.8	○
2	学校は親身になって相談にのってくれる体制ができています。	75%	25%			3.8	○
3	教員は教育活動全般において、子どもをよく理解している。	75%	25%			3.8	○
4	学校は社会生活に必要なマナーやルール等を子どもに応じて指導してくれる。	100%				4.0	◎
5	学校は福祉、医療、進路等に関する情報を提供してくれる。	75%	25%			3.8	○
6	個に応じた分かりやすい授業の工夫がなされている。	75%	25%			3.8	○
7	学校は子どもの様子(学習・生活・健康等)を知らせてくれる。	75%	25%			3.8	○
8	子どもにあった学習内容や方法について、説明がなされている。	75%	25%			3.8	○
9	学校は、子どもが家庭や寄宿舎で取り組む学習課題を示してくれる。	100%				4.0	◎
10	学校や学級の雰囲気や良く、子どもは楽しく生活している。	100%				4.0	◎
11	学校行事の内容や時期は適切である。	75%		25%		3.5	△
12	事故防止のための指導がなされている。	100%				4.0	◎
13	寄宿舎の活動は計画的で活気がある活動となっている。(舎生保護者の方記入)						
14	舎では年齢に応じた社会生活(挨拶や服装、社会のルール、マナー等)を身につけるような指導を行っている。(舎生保護者の方記入)						
・教育活動全般においては、ほぼ満足していただいているが、働く保護者が多く、保護者同伴の行事については検討が必要である。							
教育環境について							
15	学校はよく清掃・整備されている。	50%	50%			3.5	○
16	教育に必要な施設・設備が整っている。	75%		25%		3.5	△
17	学校は子どもの健康・安全のために指導や環境整備をしてくれる。緊急の場合に備えて適切な配慮がなされている。	100%				4.0	◎
18	学校内の壁面装飾や掲示物が適切になされている。	100%				4.0	◎
19	寄宿舎の施設設備は、安全・健康に配慮している。(舎生保護者の方記入)						
・16については、「中庭に季節を感じられる木や草花がなく、季節感を感じられない。虫も探さないといないので、自然を身近に感じられる環境づくりをしてほしい。」という意見だった。事務室とも相談しながら検討していきたい。							
開かれた学校について							
20	学校はPTA活動や保護者の活動に協力的である。	75%	25%			3.8	○
21	授業参観・学級懇談等の回数は適切である。	75%	25%			3.8	○
22	学校の様子をホームページ、学校便りや学級通信でよく知らせている。	100%				4.0	◎
23	近隣の学校と交流活動が十分行われている。	100%				4.0	◎
24	学校の施設・設備等を利用しやすい。	75%	25%			3.8	○

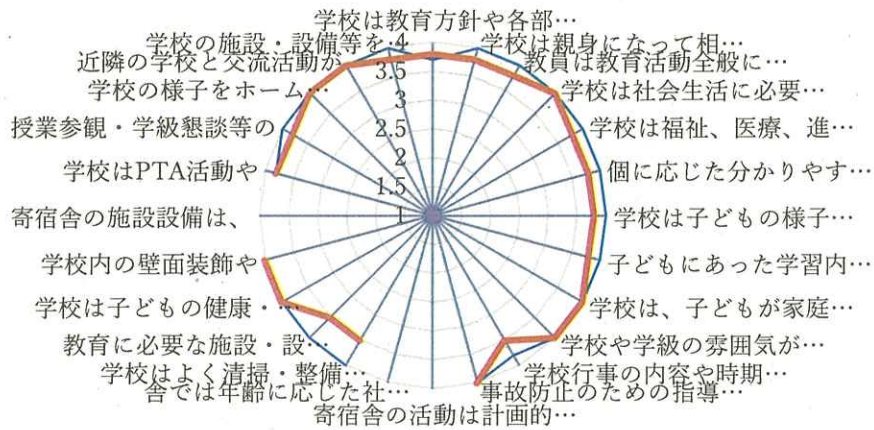
幼稚部

— 評価点 前期 — 評価点 後期



幼稚部保護者

— 去年 — 今年



令和3年度 長崎県立ろう学校 学校評価 集計表(小 後期)

学校教育目標	○基本的人権を尊重し、幼児児童生徒の特性や発達段階、教育的ニーズに応じて幼稚部から高等部まで一貫した教育を行うことにより、健康で明るく心豊かな人間を育成する。 ○聴覚障害による学習または生活上の困難を改善克服することにより、生きる力を高め自立し積極的に社会参加できる力を培う。		
学校経営目標	① 各部門及び寄宿舎との連携を深め、社会自立と希望進路の実現のため、幼稚部から高等部専攻科まで一貫した教育を推進し、確かな学力とコミュニケーション力を基礎に、生きる力を育成する。 ② 一人一人の個性を伸ばし、豊かな人間性の育成に努め、明るく元気な特色ある学校づくりを推進する。 ③ 関係機関や地域・保護者と密に連携し、教育実践の深化を図る。 ④ 教職員の専門性及び指導力の向上に努める。 ⑤ 特別支援教育のセンター的機能の充実を図る。 ⑥ 施設・設備の整備を進め、幼児児童生徒及び職員の安全確保と教育環境の充実を図る。 ⑦ 業務負担の適正化を図る。 ⑧ コンプライアンスを徹底する。		
小学部努力目標	① 一人一人の児童の実態に応じた指導の充実を図り、言語力と学力を高めるとともに、社会常識やたくましい精神力、人との協調性など社会自立に必要な基礎的な力を培う。 ② 聴覚活用の力を最大限に伸ばすと同時に、児童一人一人に応じたコミュニケーション手段を積極的に活用しながら、生活言語の拡充や学習言語の習得を図る。 ③ 保護者や関係機関との連携により、聴覚障害児童の理解を深め、効果的・効率的に教育活動を展開する。 ④ 授業の研究や専門性の研修を行い、個々の教師の指導力と教職員間の共同体制を高める。 ⑤ 児童を中心とした教育相談・支援機能の充実を図り、聴覚障害教育のセンター的役割を果たす。 ⑥ 安全点検や校内美化活動を行い、施設設備の整備と教育関係の充実を図る。		
4：十分達成している 3：おおむね達成している 2：どちらかという達成されていない 1：ほとんど達成されていない ※(1)と(2)は該当学部について評価する。評価(3)～(7)は学校全職員で評価する。			
目標達成のための主な取組	点数	評価%	今後に向けての課題
		前期 後期	
(1)社会自立と希望進路の実現について			
①各学部の学習目標の達成を目指し、授業改善と指導の充実に向け、確かな学力を育成する。 (評価点 前期 3.2 / 後期 3.3)	4	23	33
	3	77	67
	2		
	1		
②家庭・寄宿舎・学校と連携し、児童生徒の基本的生活習慣及び学習習慣の確立を図る。 (評価点 前期 3.5 / 後期 3.3)	4	46	27
	3	54	73
	2		
	1		
③キャリア教育を重視し、職業・就労に関する意識の啓発や意欲及び働く力の育成を図る。 (評価点 前期 3.0 / 後期 3.0)	4	15	7
	3	69	87
	2	15	7
	1		
④食育を計画的に実践し、食への関心及び心身の成長や健康の保持・増進への意識を高める。 (評価点 前期 3.5 / 後期 3.6)	4	46	60
	3	54	40
	2		
	1		
⑤個々の適性と希望に応じた進路選択を目指し、児童生徒及び幼稚部を含む保護者へのガイダンスに努める。 (評価点 前期 3.2 / 後期 3.1)	4	23	20
	3	77	73
	2		7
	1		
(2)個性の伸長と、豊かな人間性の育成および明るく元気な学校づくりについて			
①一人一人の教育的ニーズを把握し、個別的教育支援計画や個別の指導計画の活用を通じて、個に応じた指導の充実を図る。 (評価点 前期 3.5 / 後期 3.7)	4	54	67
	3	46	33
	2		
	1		
②聴覚活用の力を最大限に伸ばし、言語力、コミュニケーション力を高め、確かな日本語の獲得を目指す。 (評価点 前期 3.5 / 後期 3.4)	4	50	40
	3	50	60
	2		
	1		
③幼児児童生徒と教職員が挨拶を交わし、コミュニケーションの基礎をつくる。 (評価点 前期 3.7 / 後期 3.8)	4	71	80
	3	29	20
	2		
	1		
④学校行事や部活動の活性化、及び道徳教育を含む日常の教育活動を通じて、豊かな人間性の育成に努める。 (評価点 前期 3.5 / 後期 3.5)	4	50	53
	3	50	47
	2		
	1		
⑤いじめ防止については子どもたちへの定期的なアンケートを実施し、実態把握を行う。また、気になる子どもたちへの相談や聞き取りを行い、いじめの未然防止に努める。 (評価点 前期 3.7 / 後期 3.9)	4	69	87
	3	31	13
	2		
	1		

目標達成のための主な取組	点数	評価%		今後に向けての課題
		前期	後期	
(3)関係機関や地域・保護者との連携強化について				
①PTA総会や各部保護者会の出席率を高め、学校の教育方針の周知・理解を促進し、連携の基礎をつくる。 (評価点 前期 3.3 / 後期 3.3)	4	31	33	保護者参加の研修会やPTA活動への出席率は高くはないので、参加しやすさや内容の工夫が必要である。
	3	69	60	
	2		7	
	1			
②学校ホームページ等を通じて、情報の発信に努める。 (評価点 前期 3.4 / 後期 3.6)	4	38	60	
	3	62	40	
	2			
	1			
③居住他校交流や近隣の学校等との交流を進め、幼児児童生徒の地域との交流を進める。 (評価点 前期 3.2 / 後期 3.5)	4	31	53	コロナ感染症がだいぶ落ち着いてきて、2学期からは、居住他校交流や学校間交流ができるようにはなったものの評価としては十分でないということだろうと考える。
	3	54	40	
	2	15	7	
	1			
(4)教職員の専門性及び指導力の向上について				
①研究授業・授業研究を計画的に実施し、授業改善および学部間の交流を図る。 (評価点 前期 3.3 / 後期 3.5)	4	31	53	学部での研究授業等は計画的に実施したが、参観のしにくさがあったり、学部を越えての意見交流がなかなかできなかった。
	3	69	40	
	2		7	
	1			
②研究推進委員会を中心に、全職員による校内研究を計画的に進める。 (評価点 前期 3.3 / 後期 3.5)	4	31	47	
	3	69	53	
	2			
	1			
③長期休業期間を中心に、外部講師を招聘し研修を実施する。 (評価点 前期 3.5 / 後期 3.5)	4	46	53	
	3	54	47	
	2			
	1			
④校内外で実施される各種研修会に積極的に参加する。 (評価点 前期 3.1 / 後期 3.2)	4	15	20	
	3	77	80	
	2	8		
	1			
(5)特別支援教育のセンター的機能の充実について				
①市内特別支援学校コーディネーターによる協議会及び大村地区特別支援教育連絡協議会において積極的な役割を果たす。 (評価点 前期 3.4 / 後期 3.5)	4	38	47	
	3	62	53	
	2			
	1			
②教育相談(本校・派遣)を充実させ、聴覚障害のある子どもに対する地域の支援センターとしての役割を果たす。 (評価点 前期 3.4 / 後期 3.5)	4	46	47	
	3	46	53	
	2	8		
	1			
(6)施設・設備の整備と教育環境の充実について				
①学期に1回は全校の安全点検を行い、安全の確保に努める。 (評価点 前期 3.8 / 後期 3.9)	4	85	87	
	3	15	13	
	2			
	1			
②施設設備の点検を徹底し、必要に応じて迅速な補修・営繕に努める。 (評価点 前期 3.7 / 後期 3.7)	4	69	67	
	3	31	33	
	2			
	1			
(7)業務負担の適正化について				
③適切な事務処理に努め、透明性の確保を徹底する。 (評価点 前期 3.6 / 後期 3.7)	4	57	67	
	3	43	33	
	2			
	1			
(7)コンプライアンスの徹底について				
①服務規律強化月間の取組を中心に、服務規律の保持・徹底に努める。 (評価点 前期 3.7 / 後期 3.7)	4	71	73	
	3	29	27	
	2			
	1			
②各種の事故・災害に備えるため、危機管理マニュアルを点検・整備し、必要な訓練を実施する。 (評価点 前期 3.4 / 後期 3.6)	4	36	60	
	3	64	40	
	2			
	1			

令和3年度 長崎県立ろう学校学校評価保護者アンケート 16人 / 16人 回収率 100%
(小学)部

評価の欄に、下記の4～1を基準にして、あてはまる部分の欄に○を付けてください。
4:良くあてはまる 3:ややあてはまる 2あまりあてはまらない 1:まったくあてはまらない

具体的評価内容		評価 %				評価	到達度(十分達成◎、概ね達成○課題あり△)
		4	3	2	1		
教育活動全般について							
1	学校は教育方針や各部の目標、特色ある教育活動を伝えてくれる。	69%	25%	6%		3.6	△
2	学校は親身になって相談ののってくれる体制ができている。	75%	25%			3.8	○
3	教員は教育活動全般において、子どもをよく理解している。	69%	25%	6%		3.6	△
4	学校は社会生活に必要なマナーやルール等を子どもに応じて指導してくれる。	69%	25%	6%		3.6	△
5	学校は福祉、医療、進路等に関する情報を提供してくれる。	53%	27%	20%		3.3	△
6	個に応じた分かりやすい授業の工夫がなされている。	75%	25%			3.8	○
7	学校は子どもの様子(学習・生活・健康等)を知らせてくれる。	81%	19%			3.8	○
8	子どもにあった学習内容や方法について、説明がなされている。	75%	25%			3.8	○
9	学校は、子どもが家庭や寄宿舎で取り組む学習課題を示してくれる。	73%	20%	7%		3.7	△
10	学校や学級の雰囲気良く、子どもは楽しく生活している。	81%	19%			3.8	○
11	学校行事の内容や時期は適切である。	56%	38%	6%		3.5	△
12	事故防止のための指導がなされている。	63%	31%	6%		3.6	△
13	寄宿舎の活動は計画的で活気がある活動となっている。(舎生保護者の方記入)	100%				4.0	◎
14	舎では年齢に応じた社会生活(挨拶や服装、社会のルール、マナー等)を身につけるような指導を行っている。(舎生保護者の方記入)	100%				4.0	◎
<p>・5については、自立活動部が「みみうち」等で情報提供したり、キャリア支援部が保護者学習会で進路に関する話をしたりしているが、職員自身も福祉・医療・進路に関する知識を増やし、保護者から聞かれたときに対応できるようにしていきたい。</p>							
教育環境について							
15	学校はよく清掃・整備されている。	75%	25%			3.8	○
16	教育に必要な施設・設備が整っている。	63%	31%		6%	3.5	△
17	学校は子どもの健康・安全のために指導や環境整備をしてくれる。緊急の場合に備えて適切な配慮がなされている。	69%	31%			3.7	○
18	学校内の壁面装飾や掲示物が適切になされている。	81%	13%	6%		3.8	△
19	寄宿舎の施設設備は、安全・健康に配慮している。(舎生保護者の方記入)	100%				4.0	◎
<p>・16に関しては、1の評価をつけた方からの具体的な意見がなかったので詳細は分からないが、3をつけた方から「まだ全員にタブレットが整備されていない」との意見が書かれていた。すでに注文はされているが、早めの整備を希望する。</p>							
開かれた学校について							
20	学校はPTA活動や保護者の活動に協力的である。	75%	25%			3.8	○
21	授業参観・学級懇談等の回数は適切である。	80%	20%			3.8	○
22	学校の様子をホームページ、学校便りや学級通信でよく知らせている。	75%	13%	13%		3.6	△
23	近隣の学校と交流活動が十分行われている。	63%	25%	6%	6%	3.4	△
24	学校の施設・設備等を利用しやすい。	56%	31%	6%	6%	3.4	△
<p>・23については、今年度もコロナ感染症拡大防止のため直接交流ができなかったが、2学期以降少しずつ直接交流もできるようになった。居住地校交流の希望も今年度は増え、交流活動への保護者の期待も大きいと感じる。 ・24については、コロナ感染症拡大防止のため長期休業中や土日の施設利用の活用を制限していたので、利用しづらいとの意見もあったのではないと思うが、保護者が評価しやすい設問なのか検討が必要である。</p>							

令和3年度 長崎県立ろう学校学校評価児童生徒アンケート 3人 / 3人 回収率 100%

(小学)部

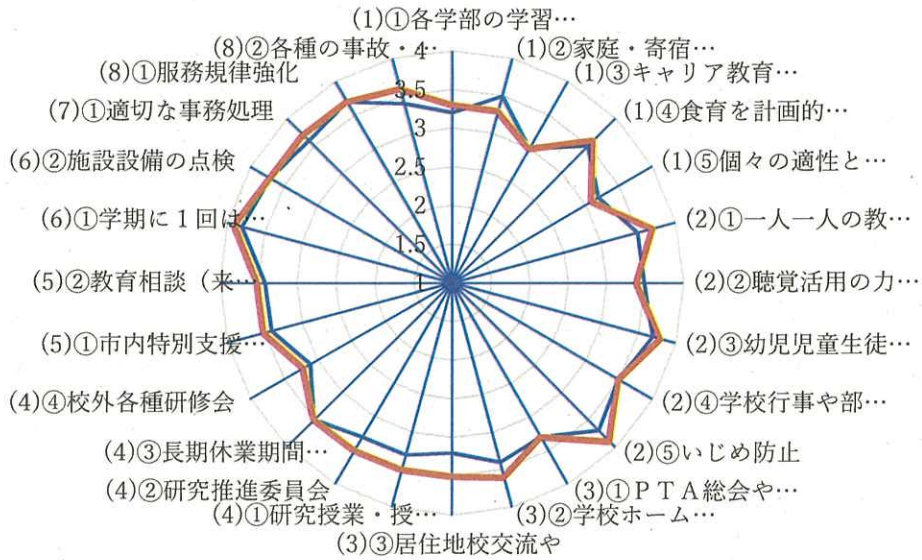
評価の欄に、下記の数字を基準にして、あてはまる部分の欄に○を付けてください。

4:良くあてはまる 3:だいたいあてはまる 2:あまりあてはまらない 1:まったくあてはまらない

具体的評価内容		評価 %				評価	到達度(十分達成◎、概ね達成○、課題あり△)
		4	3	2	1		
学校について							
1	困ったときや悩んだときは、先生が相談にのってくれる。	67%			33%	3.0	△
2	進路・卒業後の生活について、先生は親身になって話してくれる。	67%		33%		3.3	△
3	先生は、児童会・生徒会で自分たちで考えたことを聞いてくれる。	67%	33%			3.7	◎
4	まちがったことや悪いことをしたとき、先生はきちんと話を聞いて指導してくれる。	100%				4.0	◎
5	先生は、私の良いところをほめてくれる。	67%	33%			3.7	◎
6	先生は、私の努力すべきことを教えてくれる。	67%		33%		3.3	△
7	先生は、授業中に分かりやすくていねいに教えてくれる。	33%	33%	33%		3.0	△
8	先生は家庭や寄宿舎で学習する課題や学習の仕方のアドバイスをしてくれる。	67%			33%	3.0	△
9	学校では交通ルールや火災・地震の時の避難の仕方を教えてくれる。	100%				4.0	◎
10	先生は、病気や事故がないように気をつけてくれる。	67%	33%			3.7	◎
11	学校は、掃除が行き届き、いつもきれいである。	100%				4.0	◎
12	学校は、授業に必要な場所や道具が整っている。	67%	33%			3.7	◎
13	学校は、危険な場所がなく安全である。	67%		33%		3.3	△
14	寄宿舎の施設設備は、危険な場所がなく安全である。(舎生のみ記入)	100%				4.0	◎
・児童には、個に応じた分かりやすい言葉での説明や学習の手立てなどを工夫しているところではあるが、児童がきちんと理解しているかどうかの確認をしながら丁寧な対応を続けていきたい。また、相談しやすい雰囲気づくりに努めるとともに、学習面生活面、進路など様々な話題を取り上げて積極的に話をしていきたい。							
自分について							
15	文化祭や体育祭などの学校行事に、目標をもって取り組んでいる。	67%	33%			3.7	○
16	学習には意欲的に取り組んでいる。	100%				4.0	◎
17	学校で学習したことに興味を持ち、家や寄宿舎でも取り組んでいる。	67%	33%			3.7	○
18	自分から進んであいさつをしている。	100%				4.0	◎
19	部活動は意欲的に参加している。(部活に参加している人のみ)					/	
20	服装などの身だしなみに気をつけている。	67%			33%	3.0	△
21	学校には仲の良い友達がいて楽しく生活している。	100%				4.0	◎
22	舎生会活動は計画的で、活動に活気がある。(舎生のみ記入)	100%				4.0	◎
・20については、意識して指導していきたい。							

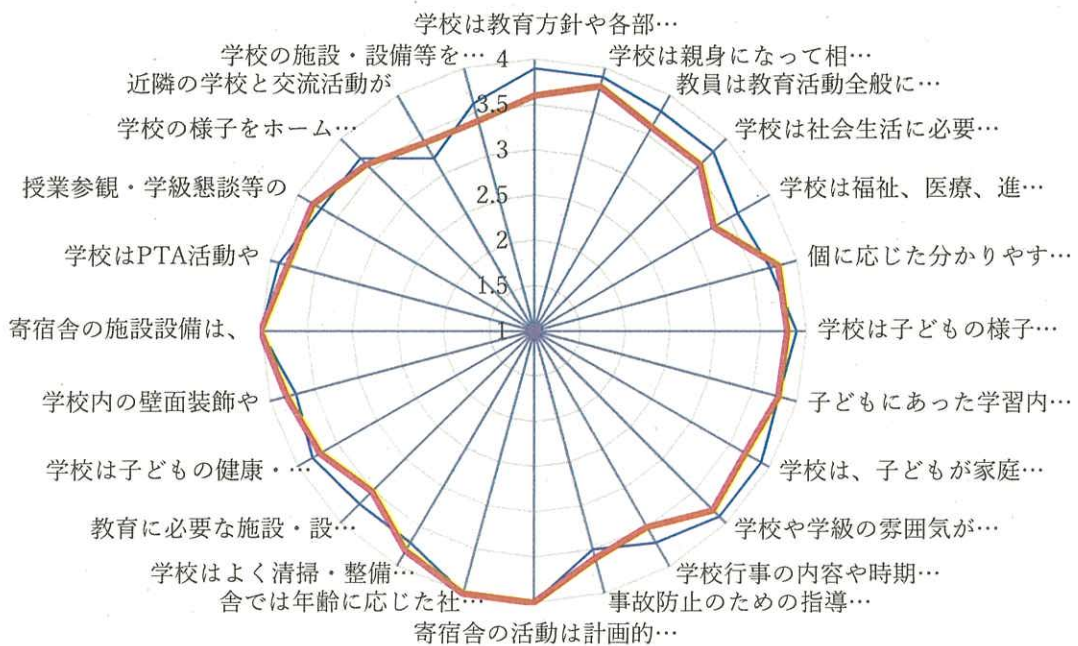
小学部

— 評価点 前期 — 評価点 後期



小学部保護者

— 去年 — 今年



令和3年度 長崎県立ろう学校 学校評価 集計表(中 後期)

学校教育目標	○基本的人権を尊重し、幼児児童生徒の特性や発達段階、教育的ニーズに応じて幼稚園から高等部まで一貫した教育を行うことにより、健康で明るく心豊かな人間を育成する。 ○聴覚障害による学習または生活上の困難を改善克服することにより、生きる力を高め自立し積極的に社会参加できる力を培う。
学校経営目標	① 各部門及び寄宿舎との連携を深め、社会自立と希望進路の実現のため、幼稚園から高等部専攻科まで一貫した教育を推進し、確かな学力とコミュニケーション力を基礎に、生きる力を育成する。 ② 一人一人の個性を伸ばし、豊かな人間性の育成に努め、明るく元気な特色ある学校づくりを推進する。 ③ 関係機関や地域・保護者と密に連携し、教育実践の深化を図る。 ④ 教職員の専門性及び指導力の向上に努める。 ⑤ 特別支援教育のセンター的機能の充実を図る。 ⑥ 施設・設備の整備を進め、幼児児童生徒及び職員の安全確保と教育環境の充実に努める。 ⑦ 業務負担の適正化を図る。 ⑧ コンプライアンスを徹底する。
中学部 努力目標	① 言語力と学力を高めるとともに、生徒一人一人が社会自立、職業自立を目指し、主体的に自己実現を図っていく能力や態度を育てる。 ② 聴覚活用を基本に生徒一人一人の実態に応じたコミュニケーション手段を活用しながら、言語力の拡充を図る。 ③ 保護者や関係機関との連携を深め、関係者からの意見を学部経営に生かす。 ④ 授業研究や専門性を高める研修を行い、指導力の向上を図る。 ⑤ 小・中学生を中心とした教育相談・支援機能の充実を図り、聴覚障害教育のセンター的役割を果たす。 ⑥ 施設・設備の整備をすすめるとともに、教育環境の充実に努める。

4：十分達成している 3：おおむね達成している 2：どちらかという達成されていない 1：ほとんど達成されていない
※(1)と(2)は該当学部について評価する。評価(3)～(7)は学校全職員で評価する。

目標達成のための主な取組	点数	評価%		今後に向けての課題
		前期	後期	
(1)社会自立と希望進路の実現について				
①各学部の学習目標の達成を目指し、授業改善と指導の充実に努め、確かな学力を育成する。 (評価点 前期 3.3 / 後期 3.3)	4	27	27	
	3	73	73	
	2			
	1			
②家庭・寄宿舎・学校と連携し、児童生徒の基本的な生活習慣及び学習習慣の確立を図る。 (評価点 前期 3.5 / 後期 3.5)	4	45	55	
	3	55	45	
	2			
	1			
③キャリア教育を重視し、職業・就労に関する意識の啓発や意欲及び働く力の育成を図る。 (評価点 前期 3.3 / 後期 3.4)	4	27	45	
	3	73	45	
	2		9	
	1			
④食育を計画的に実践し、食への関心及び心身の成長や健康の保持・増進への意識を高める。 (評価点 前期 3.3 / 後期 3.2)	4	27	27	
	3	73	64	
	2		9	
	1			
⑤個々の適性と希望に応じた進路選択を目指し、児童生徒及び幼稚園部を含む保護者へのガイダンスに努める。 (評価点 前期 3.4 / 後期 3.1)	4	40	36	中学部3年間の進路指導計画(中学部1年次に求める力、オープンスクールへの参加等)保護者に示し、連携して取り組む必要があった。コロナの関係もあり、集まるのが難しい面もあるが、保護者への働きかけはもっとできることがあった。
	3	60	36	
	2		27	
	1			
(2)個性の伸長と、豊かな人間性の育成および明るく元気な学校づくりについて				
①一人一人の教育的ニーズを把握し、個別的教育支援計画や個別の指導計画の活用を通じて、個に応じた指導の充実に努める。 (評価点 前期 3.5 / 後期 3.4)	4	45	36	
	3	55	64	
	2			
	1			
②聴覚活用の力を最大限に伸ばし、言語力、コミュニケーション力を高め、確かな日本語の獲得を目指す。 (評価点 前期 3.5 / 後期 3.5)	4	45	55	
	3	55	45	
	2			
	1			
③幼児児童生徒と教職員が挨拶を交わし、コミュニケーションの基礎をつくる。 (評価点 前期 3.7 / 後期 3.6)	4	73	64	
	3	27	36	
	2			
	1			
④学校行事や部活動の活性化、及び道徳教育を含む日常の教育活動を通じて、豊かな人間性の育成に努める。 (評価点 前期 3.6 / 後期 3.6)	4	64	64	
	3	36	36	
	2			
	1			
⑤いじめ防止については子どもたちへの定期的なアンケートを実施し、実態把握を行う。また、気になる子どもたちへの相談や聞き取りを行い、いじめの未然防止に努める。 (評価点 前期 3.7 / 後期 3.7)	4	73	73	
	3	27	27	
	2			
	1			

目標達成のための主な取組	点数	評価%		今後に向けての課題
		前期	後期	
(3)関係機関や地域・保護者との連携強化について				
①PTA総会や各部保護者会の出席率を高め、学校の教育方針の周知・理解を促進し、連携の基礎をつくる。 (評価点 前期 3.4 / 後期 3.0)	4	36		前期は、コロナの影響で保護者会などができない状況だったが、後期は人権研修会を開催できた。日程的な問題もあったためか保護者の参加が少なかったが、当日の内容はYouTubeで限定公開できるようにした。
	3	64	100	
	2			
	1			
②学校ホームページ等を通じて、情報の発信に努める。 (評価点 前期 3.5 / 後期 3.5)	4	55	55	
	3	36	45	
	2	9		
	1			
③居住地校交流や近隣の学校等との交流を進め、幼児児童生徒の地域との交流を進める。 (評価点 前期 3.7 / 後期 3.5)	4	73	55	
	3	27	45	
	2			
	1			
(4)教職員の専門性及び指導力の向上について				
①研究授業・授業研究を計画的に実施し、授業改善および学部間の交流を図る。 (評価点 前期 3.3 / 後期 3.4)	4	27	36	
	3	73	64	
	2			
	1			
②研究推進委員会を中心に、全職員による校内研究を計画的に進める。 (評価点 前期 3.5 / 後期 3.4)	4	45	36	
	3	55	64	
	2			
	1			
③長期休業期間を中心に、外部講師を招聘し研修を実施する。 (評価点 前期 3.7 / 後期 3.6)	4	73	64	
	3	27	36	
	2			
	1			
④校内外で実施される各種研修会に積極的に参加する。 (評価点 前期 3.4 / 後期 3.5)	4	36	45	
	3	64	55	
	2			
	1			
(5)特別支援教育のセンター的機能の充実について				
①市内特別支援学校コーディネーターによる協議会及び大村地区特別支援教育連絡協議会において積極的な役割を果たす。 (評価点 前期 3.7 / 後期 3.5)	4	73	55	
	3	27	45	
	2			
	1			
②教育相談(本校・派遣)を充実させ、聴覚障害のある子どもに対する地域の支援センターとしての役割を果たす。 (評価点 前期 3.7 / 後期 3.5)	4	73	55	
	3	27	45	
	2			
	1			
(6)施設・設備の整備と教育環境の充実について				
①学期に1回は全校の安全点検を行い、安全の確保に努める。 (評価点 前期 2.7 / 後期 3.2)	4	18	27	安全点検簿を紙媒体にすることで、データでの管理の時よりも改善できた。
	3	45	64	
	2	27	9	
	1	9		
②施設設備の点検を徹底し、必要に応じて迅速な補修・営繕に努める。 (評価点 前期 3.1 / 後期 3.5)	4	27	45	
	3	55	55	
	2	18		
	1			
(7)業務負担の適正化について				
③適切な事務処理に努め、透明性の確保を徹底する。 (評価点 前期 3.5 / 後期 3.4)	4	45	36	
	3	55	64	
	2			
	1			
(8)コンプライアンスの徹底について				
①服務規律強化月間の取組を中心に、服務規律の保持・徹底に努める。 (評価点 前期 3.7 / 後期 3.8)	4	73	82	
	3	27	18	
	2			
	1			
②各種の事故・災害に備えるため、危機管理マニュアルを点検・整備し、必要な訓練を実施する。 (評価点 前期 3.5 / 後期 3.5)	4	55	45	
	3	45	55	
	2			
	1			

令和3年度 長崎県立ろう学校学校評価保護者アンケート 5人/6人 回収率 83%

(中学)部

評価の欄に、下記の4~1を基準にして、あてはまる部分の欄に○を付けてくだ

4:良くあてはまる 3:ややあてはまる 2あまりあてはまらない 1:まったくあてはまらない

具体的評価内容		評価%				評価	到達度(十分達成◎、概ね達成○課題あり△)
		4	3	2	1		
教育活動全般について							
1	学校は教育方針や各部の目標、特色ある教育活動を伝えてくれる。	40%	60%			3.4	○
2	学校は親身になって相談ののってくれる体制ができています。	60%	40%			3.6	◎
3	教員は教育活動全般において、子どもをよく理解している。	40%	60%			3.4	○
4	学校は社会生活に必要なマナーやルール等を子どもに応じて指導してくれる。	60%	40%			3.6	◎
5	学校は福祉、医療、進路等に関する情報を提供してくれる。	40%	40%	20%		3.2	△
6	個に応じた分かりやすい授業の工夫がなされている。	20%	80%			3.2	○
7	学校は子どもの様子(学習・生活・健康等)を知らせてくれる。	100%				4.0	◎
8	子どもにあった学習内容や方法について、説明がなされている。	60%	40%			3.6	◎
9	学校は、子どもが家庭や寄宿舎で取り組む学習課題を示してくれる。	60%	40%			3.6	◎
10	学校や学級の雰囲気良く、子どもは楽しく生活している。	80%	20%			3.8	◎
11	学校行事の内容や時期は適切である。	20%	80%			3.2	○
12	事故防止のための指導がなされている。	40%	60%			3.4	○
13	寄宿舎の活動は計画的で活気がある活動となっている。(舎生保護者の方記入)	50%	50%			3.5	○
14	舎では年齢に応じた社会生活(挨拶や服装、社会のルール、マナー等)を身につけるような指導を行っている。(舎生保護者の方記入)		100%			3.0	○
<p>進路に関する情報提供が不十分との指摘が少数あった。各担任や進路担当から情報発信をしているが、個別に行き届いていないところがあると思われる。</p> <p>学校や寄宿舎のルールと家庭の方針との違いで、たびたび話題に上がる事例はあるが、その都度対応し納得していただいている。</p> <p>校舎内での履物について具体的な提案があった。学部及び分掌で検討に入る。</p> <p>校則に関しては、生徒の自治活動に関する側面もあり、毎年見直しを行っている。</p>							
教育環境について							
15	学校はよく清掃・整備されている。	40%	60%			3.4	○
16	教育に必要な施設・設備が整っている。	40%	60%			3.4	○
17	学校は子どもの健康・安全のために指導や環境整備をしてくれる。緊急の場合に備えて適切な配慮がなされている。	40%	60%			3.4	○
18	学校内の壁面装飾や掲示物が適切になされている。	20%	80%			3.2	○
19	寄宿舎の施設設備は、安全・健康に配慮している。(舎生保護者の方記入)	50%	50%			3.5	○
概ね高い評価をいただいている。							
開かれた学校について							
20	学校はPTA活動や保護者の活動に協力的である。	40%	60%			3.4	○
21	授業参観・学級懇談等の回数は適切である。	60%	40%			3.6	◎
22	学校の様子をホームページ、学校便りや学級通信でよく知らせている。	100%				4.0	◎
23	近隣の学校と交流活動が十分行われている。	40%	40%	20%		3.2	△
24	学校の施設・設備等を利用しやすい。	40%	20%	40%		3.0	△
<p>直接交流や居住地校との交流が、コロナの影響で不十分な印象がある。代替活動としてのウェブ交流などを工夫して行っている。</p> <p>施設については、まだ新しい校舎なので、使いながら改良すべき事柄と、現状に慣れるべき事柄が混在していると思われる。</p>							

令和3年度 長崎県立ろう学校学校評価児童生徒アンケート 6人 /6人 回収率100%

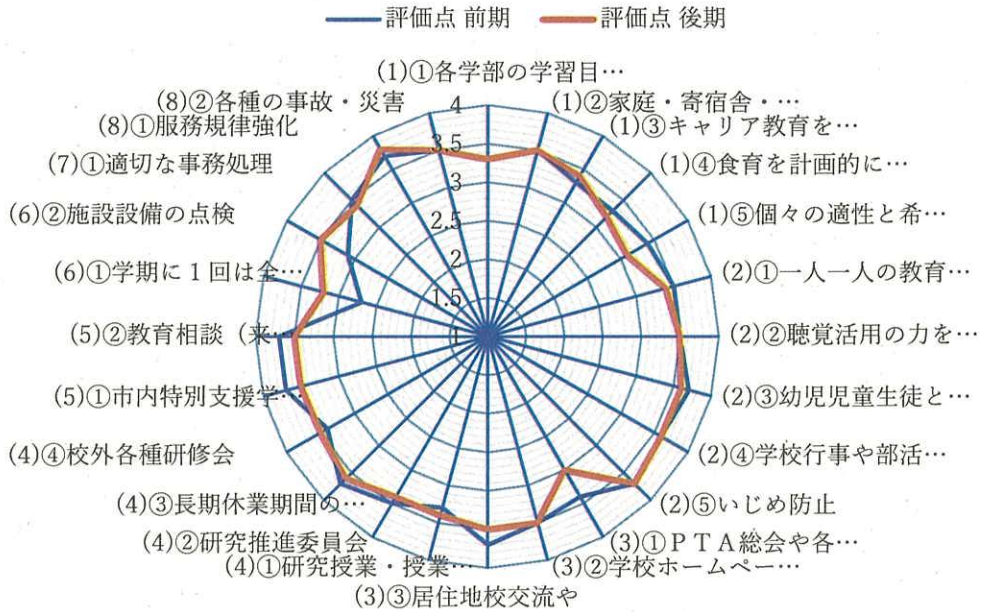
(中学)部

評価の欄に、下記の数字を基準にして、あてはまる部分の欄に○を付けてください。

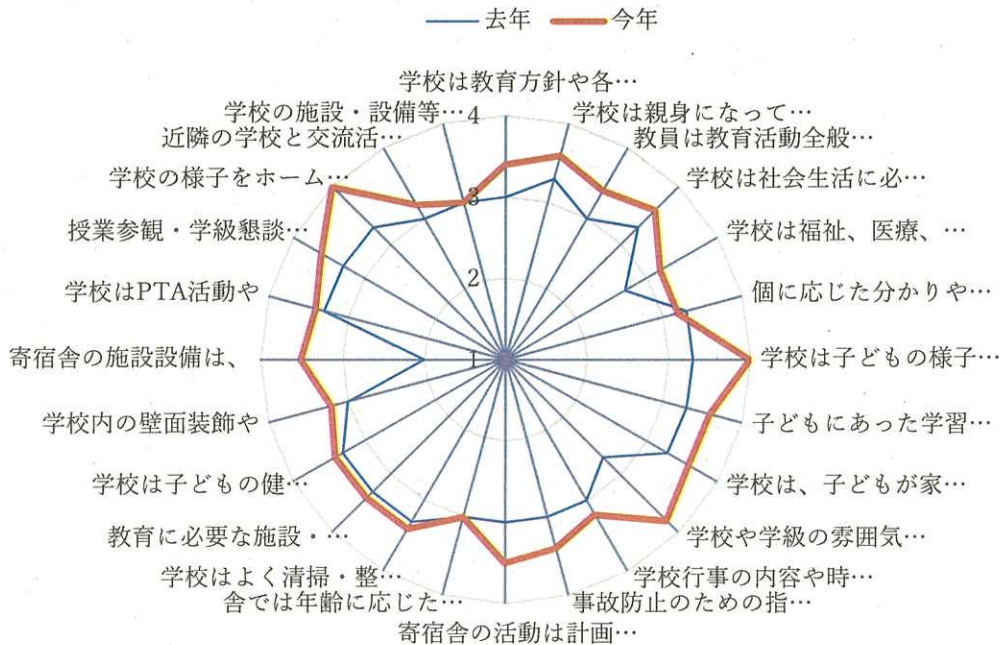
4:良くあてはまる 3:だいたいあてはまる 2:あまりあてはまらない 1:まったくあてはまらない

具体的評価内容		評価 %				評価	到達度(十分達成◎、概ね達成○、課題あり△)
		4	3	2	1		
学校について							
1	困ったときや悩んだときは、先生が相談にのってくれる。	50%	17%	33%		3.2	△
2	進路・卒業後の生活について、先生は親身になって話してくれる。	67%	33%			3.7	◎
3	先生は、児童会・生徒会で自分たちで考えたことを聞いてくれる。	67%	33%			3.7	◎
4	まちがったことや悪いことをしたとき、先生はきちんと話を聞いて指導してくれる。	100%				4.0	◎
5	先生は、私の良いところをほめてくれる。	83%		17%		3.7	△
6	先生は、私の努力すべきことを教えてくれる。		83%	17%		2.8	△
7	先生は、授業中に分かりやすくていねいに教えてくれる。	67%	17%	17%		3.5	△
8	先生は家庭や寄宿舎で学習する課題や学習の仕方のアドバイスをしてくれる。	67%	17%	17%		3.5	△
9	学校では交通ルールや火災・地震の時の避難の仕方を教えてくれる。	67%	33%			3.7	◎
10	先生は、病気や事故がないように気をつけてくれる。	100%				4.0	◎
11	学校は、掃除が行き届き、いつもきれいである。	83%	17%			3.8	◎
12	学校は、授業に必要な場所や道具が整っている。	100%				4.0	◎
13	学校は、危険な場所がなく安全である。	100%				4.0	◎
14	寄宿舎の施設設備は、危険な場所がなく安全である。(舎生のみ記入)	67%		33%		3.3	△
<p>「5」と「6」を比較して考えると、称賛の経験に比べて、弱点の指摘が少ない印象にあることがうかがえる。教師側は伝えている認識でいるので、伝え方も含めて学部で議題にする。 個人によって評価にばらつきがみられるが、承認欲求が十分に満たされていない生徒がいる。いじめアンケートの結果を加味して考えると、概ね話しやすい雰囲気づくりができていると思われるが、継続的に指導していく。</p>							
自分について							
15	文化祭や体育祭などの学校行事に、目標をもって取り組んでいる。	67%	33%			3.7	◎
16	学習には意欲的に取り組んでいる。	33%	33%	33%		3.0	△
17	学校で学習したことに興味を持ち、家や寄宿舎でも取り組んでいる。	17%	33%	33%	17%	2.5	△
18	自分から進んであいさつをしている。	67%	17%	17%		3.5	△
19	部活動は意欲的に参加している。(部活に参加している人のみ)	80%		20%		3.6	△
20	服装などの身だしなみに気をつけている。	50%	17%	17%	17%	3.0	△
21	学校には仲の良い友達がいって楽しく生活している。	67%	17%	17%		3.5	△
22	舎生会活動は計画的で、活動に活気がある。(舎生のみ記入)	67%	33%			3.7	◎
<p>現状で十分と思っている生徒と、まだまだ自分の努力が足りないと自己評価している生徒が混在している。個人に合わせて、適切な負荷を探る必要があるが、与えられた学習に関しては概ね前向きと捉える。 「17」にばらつきがある。自学の習慣が付いていない者がいることと、中学生段階の学習内容に自分だけでは対応できない現状も原因と捉える。ICTの活用も含めて、家庭に持ち帰る課題の工夫が必要である。</p>							

中学部



中学部保護者



令和3年度 長崎県立ろう学校 学校評価 集計表(高・後期)

学校教育目標	○基本的人権を尊重し、幼児児童生徒の特性や発達段階、教育的ニーズに応じて幼稚部から高等部まで一貫した教育を行うことにより、健康で明るく心豊かな人間を育成する。 ○聴覚障害による学習または生活上の困難を改善克服することにより、生きる力を高め自立し積極的に社会参加できる力を培う。			
学校経営目標	①各部門及び寄宿舎との連携を深め、社会自立と希望進路の実現のため、幼稚部から高等部専攻科まで一貫した教育を推進し、確かな学力とコミュニケーション力を基礎に、生きる力を育成する。 ②一人一人の個性を伸ばし、豊かな人間性の育成に努め、明るく元気な特色ある学校づくりを推進する。 ③関係機関や地域・保護者と密に連携し、教育実践の深化を図る。 ④教職員の専門性及び指導力の向上に努める。 ⑤特別支援教育のセンター的機能の充実を図る。 ⑥施設・設備の整備を進め、幼児児童生徒及び職員の安全確保と教育環境の充実に努める。 ⑦業務負担の適正化を図る。 ⑧コンプライアンスを徹底する。			
高等部努力目標	①高等部職員間や寄宿舎職員との連携を深め、キャリア教育に基づいた教育活動を展開し、適切な進路の実現に向けて、勤労観、職業観を高めると共に、卒業後、主体的に生活する態度を養う。 ②一人一人の教育的ニーズを把握し、言語力、コミュニケーション力の向上に努め、自身の意思や考えを発信できる力を育成する。 ③保護者及び関係機関、地域との連携を図り、高等部の教育活動への理解を深める。 ④高等部は生きる力を育むことのできる最後の教育機関であることの自覚と責任をもち専門性や指導力の向上を目指す。 ⑤中・高校生を中心とした教育相談・支援機能の充実を図り、聴覚障害教育のセンター的役割を果たす。 ⑥部管轄の施設・設備の整備と学習環境の充実に努める。			
4：十分達成している 3：おおむね達成している 2：どちらかという達成されていない 1：ほとんど達成されていない ※(1)と(2)は該当学部について評価する。評価(3)～(7)は学校全職員で評価する。				
目標達成のための主な取組	点数	評価%	今後に向けての課題	
		前期 後期		
(1)社会自立と希望進路の実現について				
①各学部の学習目標の達成を目指し、授業改善と指導の充実に努め、確かな学力を育成する。 (評価点 前期 3.1 / 後期 3.0)	4	14	7	学習した内容が定着していないため、学力の向上につながっていないと考えられる。家庭での学習などを含め、より一層の学力の定着を図る取り組みが必要である。
	3	83	89	
	2	3	4	
	1			
②家庭・寄宿舎・学校と連携し、児童生徒の基本的な生活習慣及び学習習慣の確立を図る。 (評価点 前期 3.0 / 後期 3.0)	4	10	14	課題内容や量を工夫し、学習への意識向上への取り組み、家庭での学習への取り組み等、協力依頼を行い、保護者等と連携しながら取り組むようにする。
	3	83	75	
	2	7	7	
	1		4	
③キャリア教育を重視し、職業・就労に関する意識の啓発や意欲及び働く力の育成を図る。 (評価点 前期 3.0 / 後期 2.9)	4	24	18	キャリア教育全体計画を基に、普段の授業に生かしていけるよう各学年・各クラスで十分な指導を行う。また、離職を防ぐための指導も併せて行い、本人なりに働く意味をもって卒業できるよう指導にあたる。
	3	52	57	
	2	24	25	
	1			
④食育を計画的に実践し、食への関心及び心身の成長や健康の保持・増進への意識を高める。 (評価点 前期 3.1 / 後期 3.1)	4	31	21	食に関する指導の全体計画を基に、再度、機会をとらえ本人の意識の向上と、家庭との連携を十分に図っていく。
	3	48	71	
	2	21	7	
	1			
⑤個々の適性と希望に応じた進路選択を目指し、児童生徒及び幼稚部を含む保護者へのガイダンスに努める。 (評価点 前期 3.0 / 後期 3.2)	4	14	29	多様化した生徒の実態を踏まえ、生徒の適正と希望を把握し、保護者へガイダンスできるよう、様々な分野の職業について研修・研究を行う。
	3	69	61	
	2	17	11	
	1			
(2)個性の伸長と、豊かな人間性の育成および明るく元気な学校づくりについて				
①一人一人の教育的ニーズを把握し、個別的教育支援計画や個別の指導計画の活用を通じて、個に応じた指導の充実に努める。 (評価点 前期 3.2 / 後期 3.3)	4	21	32	
	3	76	68	
	2	3		
	1			
②聴覚活用の力を最大限に伸ばし、言語力、コミュニケーション力を高め、確かな日本語の獲得を目指す。 (評価点 前期 3.1 / 後期 3.2)	4	17	32	日々の指導の機会を的確にとらえ、その都度、指導を行うようにする。
	3	79	54	
	2	3	14	
	1			
③幼児児童生徒と教職員が挨拶を交わし、コミュニケーションの基礎をつくる。 (評価点 前期 3.3 / 後期 3.5)	4	41	54	意識して、進んで挨拶をするようにする。
	3	48	43	
	2	10	4	
	1			
④学校行事や部活動の活性化、及び道徳教育を含む日常の教育活動を通じて、豊かな人間性の育成に努める。 (評価点 前期 3.2 / 後期 3.1)	4	21	21	早め早めに業務をこなし、生徒と接する時間を増やし、ゆとりをもって生徒指導にあたるようにする。
	3	76	68	
	2	3	11	
	1			
⑤いじめ防止については子どもたちへの定期的なアンケートを実施し、実態把握を行う。また、気になる子どもたちへの相談や聞き取りを行い、いじめの未然防止に努める。 (評価点 前期 3.6 / 後期 3.5)	4	59	46	
	3	41	54	
	2			
	1			

目標達成のための主な取組	点数	評価%		今後に向けての課題
		前期	後期	
(3)関係機関や地域・保護者との連携強化について				
①PTA総会や各部保護者会の出席率を高め、学校の教育方針の周知・理解を促進し、連携の基礎をつくる。 (評価点 前期 3.0 / 後期 3.1)	4	19	14	体育祭の除草作業、ロードレース大会の飲み物提供などの活動を行うことができた。コロナ禍で活動が少ない状況ではあるが、徐々に活動を再開することで、学校教育への理解や連携が深まってくると考える。
	3	59	82	
	2	22	4	
	1			
②学校ホームページ等を通じて、情報の発信に努める。 (評価点 前期 3.3 / 後期 3.3)	4	31	29	行事等、その都度ホームページにアップするようにする。年度当初に、これについてはホームページへアップするよう決めておくことで、準備や心構えができると思われる。
	3	69	68	
	2		4	
	1			
③居住地区交流や近隣の学校等との交流を進め、幼児児童生徒の地域との交流を進める。 (評価点 前期 2.9 / 後期 3.3)	4	7	29	城南高校との交流が縮小された形ではあったが実施できた。実習への参加が主だったため、生徒同士の触れ合いの場を盛り込んだ交流に今後ははしていく方向で検討したい。
	3	70	68	
	2	22	4	
	1			
(4)教職員の専門性及び指導力の向上について				
①研究授業・授業研究を計画的に実施し、授業改善および学部間の交流を図る。 (評価点 前期 3.1 / 後期 3.1)	4	24	25	他学部の研究授業への参加がなかなかできず、交流がはかれていない。研究授業への参加については、事前に参加者を学年からだしてもらうなど、計画的に進めていかないと難しいようである。
	3	59	64	
	2	17	11	
	1			
②研究推進委員会を中心に、全職員による校内研究を計画的に進める。 (評価点 前期 3.1 / 後期 3.1)	4	24	18	前期同様、研究推進委員会の内容が全職員へ共通理解が図れていないので、周知する方法を検討していきたい。
	3	66	71	
	2	10	11	
	1			
③長期休業期間を中心に、外部講師を招聘し研修を実施する。 (評価点 前期 3.3 / 後期 3.4)	4	34	36	
	3	66	64	
	2			
	1			
④校内外で実施される各種研修会に積極的に参加する。 (評価点 前期 3.1 / 後期 3.1)	4	14	21	研修会の案内を積極的に閲覧するとともに、出張に出やすい環境を整備する。
	3	86	68	
	2		11	
	1			
(5)特別支援教育のセンター的機能の充実について				
①市内特別支援学校コーディネーターによる協議会及び大村地区特別支援教育連絡協議会において積極的な役割を果たす。 (評価点 前期 3.3 / 後期 3.2)	4	30	22	
	3	70	78	
	2			
	1			
②教育相談(本校・派遣)を充実させ、聴覚障害のある子どもに対する地域の支援センターとしての役割を果たす。 (評価点 前期 3.3 / 後期 3.3)	4	37	33	教育相談担当者の動きが見えづらいため、どういった活動をしているのかわからない部分がある。活動の内容等について、周知する機会をつくつていきたい。
	3	59	63	
	2	4	4	
	1			
(6)施設・設備の整備と教育環境の充実について				
①学期に1回は全校の安全点検を行い、安全の確保に努める。 (評価点 前期 3.5 / 後期 3.5)	4	48	50	
	3	52	50	
	2			
	1			
②施設設備の点検を徹底し、必要に応じて迅速な補修・営繕に努める。 (評価点 前期 3.4 / 後期 3.4)	4	39	41	各学期に時間を設定し、徹底点検の日を設定し、不備な点等について早急に対応するようにする。
	3	57	56	
	2	4	4	
	1			
(7)業務負担の適正化について				
③適切な事務処理に努め、透明性の確保を徹底する。 (評価点 前期 3.3 / 後期 3.4)	4	38	41	
	3	59	59	
	2	3		
	1			
(8)コンプライアンスの徹底について				
①服務規律強化月間の取組を中心に、服務規律の保持・徹底に努める。 (評価点 前期 3.6 / 後期 3.6)	4	62	64	
	3	38	36	
	2			
	1			
②各種の事故・災害に備えるため、危機管理マニュアルを点検・整備し、必要な訓練を実施する。 (評価点 前期 3.6 / 後期 3.4)	4	59	39	
	3	41	61	
	2			
	1			

令和3年度 長崎県立ろう学校学校評価保護者アンケート 16 / 16 人 回収率 100 %

(高等) 部

評価の欄に、下記の4～1を基準にして、あてはまる部分の欄に○を付けてください。

4:良くあてはまる 3:ややあてはまる 2あまりあてはまらない 1:まったくあてはまらない

具体的評価内容		評価 %				評価	到達度(十分達成◎、概ね達成○課題あり△)
		4	3	2	1		
教育活動全般について							
1	学校は教育方針や各部の目標、特色ある教育活動を伝えてくれる。	56%	44%			3.6	◎
2	学校は親身になって相談にのってくれる体制ができている。	63%	31%	6%		3.6	△
3	教員は教育活動全般において、子どもをよく理解している。	50%	44%	6%		3.4	△
4	学校は社会生活に必要なマナーやルール等を子どもに応じて指導してくれる。	75%	25%			3.8	◎
5	学校は福祉、医療、進路等に関する情報を提供してくれる。	38%	50%	13%		3.3	△
6	個に応じた分かりやすい授業の工夫がなされている。	44%	56%			3.4	○
7	学校は子どもの様子(学習・生活・健康等)を知らせてくれる。	56%	25%	19%		3.4	△
8	子どもにあった学習内容や方法について、説明がなされている。	40%	47%	13%		3.3	△
9	学校は、子どもが家庭や寄宿舎で取り組む学習課題を示してくれる。	50%	38%	13%		3.4	△
10	学校や学級の雰囲気良く、子どもは楽しく生活している。	44%	44%	13%		3.3	△
11	学校行事の内容や時期は適切である。	38%	63%			3.4	○
12	事故防止のための指導がなされている。	50%	50%			3.5	◎
13	寄宿舎の活動は計画的で活気がある活動となっている。(舎生保護者の方記入)	73%	27%			3.7	◎
14	舎では年齢に応じた社会生活(挨拶や服装、社会のルール、マナー等)を身につけるような指導を行っている。(舎生保護者の方記入)	82%	18%			3.8	◎
・おおむね高い評価をいただいている。 ・生徒の学習状況、生活の様子、進路先や福祉の情報等、保護者の疑問や質問に対して日頃から対応できるようにしておきたい。							
教育環境について							
15	学校はよく清掃・整備されている。	81%	19%			3.8	◎
16	教育に必要な施設・設備が整っている。	75%	25%			3.8	◎
17	学校は子どもの健康・安全のために指導や環境整備をしてくれる。緊急の場合に備えて適切な配慮がなされている。	69%	31%			3.7	◎
18	学校内の壁面装飾や掲示物が適切になされている。	69%	31%			3.7	◎
19	寄宿舎の施設設備は、安全・健康に配慮している。(舎生保護者の方記入)	82%	18%			3.8	◎
開かれた学校について							
20	学校はPTA活動や保護者の活動に協力的である。	75%	25%			3.8	◎
21	授業参観・学級懇談等の回数は適切である。	56%	44%			3.6	◎
22	学校の様子をホームページ、学校便りや学級通信でよく知らせている。	56%	25%	19%		3.4	△
23	近隣の学校と交流活動が十分行われている。	63%	38%			3.6	◎
24	学校の施設・設備等を利用しやすい。	63%	25%	13%		3.5	△
・学校の様子や生徒の様子、また、施設設備の利用方法等について、引き続き情報の発信に努めていきたい。							

令和3年度 長崎県立ろう学校学校評価児童生徒アンケート 15人 / 16人 回収率 94%

(高等) 部

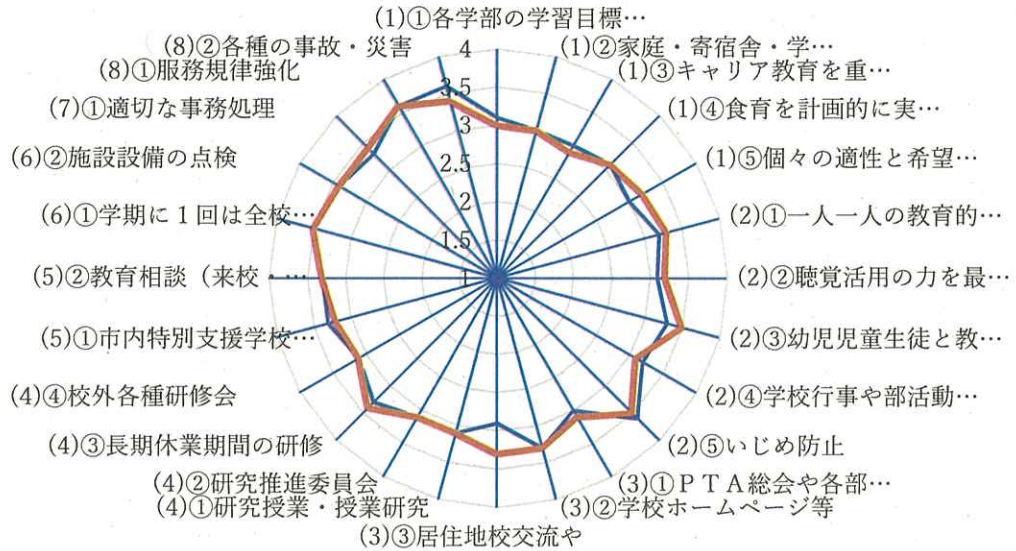
評価の欄に、下記の数字を基準にして、あてはまる部分の欄に○を付けてください。

4:良くあてはまる 3:だいたいあてはまる 2:あまりあてはまらない 1:まったくあてはまらない

具体的評価内容		評価 %				評価	到達度(十分達成◎、概ね達成○、課題あり△)
		4	3	2	1		
学校について							
1	困ったときや悩んだときは、先生が相談にのってくれる。	64%	29%	7%		3.6	△
2	進路・卒業後の生活について、先生は親身になって話してくれる。	93%	7%			3.9	◎
3	先生は、児童会・生徒会で自分たちで考えたことを聞いてくれる。	67%	33%			3.7	◎
4	まちがったことや悪いことをしたとき、先生はきちんと話を聞いて指導してくれる。	87%	13%			3.9	◎
5	先生は、私の良いところをほめてくれる。	80%	20%			3.8	◎
6	先生は、私の努力すべきことを教えてくれる。	67%	33%			3.7	◎
7	先生は、授業中に分かりやすくていねいに教えてくれる。	73%	20%	7%		3.7	△
8	先生は家庭や寄宿舎で学習する課題や学習の仕方のアドバイスをしてくれる。	47%	53%			3.5	◎
9	学校では交通ルールや火災・地震の時の避難の仕方を教えてくれる。	80%	20%			3.8	◎
10	先生は、病気や事故がないように気を付けてくれる。	80%	20%			3.8	◎
11	学校は、掃除が行き届き、いつもきれいである。	67%	33%			3.7	◎
12	学校は、授業に必要な場所や道具が整っている。	67%	33%			3.7	◎
13	学校は、危険な場所がなく安全である。	80%	20%			3.8	◎
14	寄宿舎の施設設備は、危険な場所がなく安全である。(舎生のみ記入)	80%	10%	10%		3.7	△
・各項目とも高評価となっている。 ・生徒の悩みの相談やわかりやすい授業内容・方法について、より一層、丁寧な対応を行うようにする。							
自分について							
15	文化祭や体育祭などの学校行事に、目標をもって取り組んでいる。	87%	13%			3.9	◎
16	学習には意欲的に取り組んでいる。	27%	67%	7%		3.2	△
17	学校で学習したことに興味を持ち、家や寄宿舎でも取り組んでいる。	47%	47%	7%		3.4	△
18	自分から進んであいさつをしている。	80%	20%			3.8	◎
19	部活動は意欲的に参加している。(部活に参加している人のみ)	80%		20%		3.6	△
20	服装などの身だしなみに気を付けている。	67%	33%			3.7	◎
21	学校には仲の良い友達がいて楽しく生活している。	47%	40%	13%		3.3	△
22	舎生会活動は計画的で、活動に活気がある。(舎生のみ記入)	30%	60%	10%		3.2	△
・おおむね高い評価となっている。 ・実態把握により一層努め、授業づくりや学校生活づくりにおける、生徒の課題について、さらなる指導に努めるようにする。							

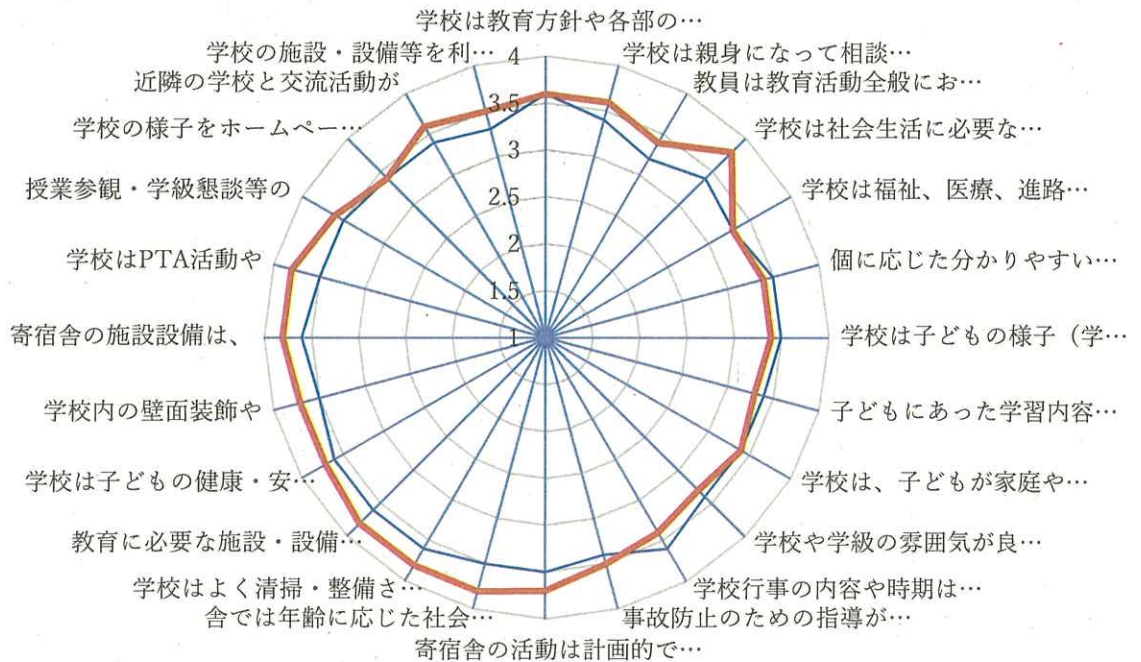
高等部

— 評価点 前期 — 評価点 後期



高等部保護者

— 去年 — 今年



令和3年度 長崎県立ろう学校 学校評価 集計表(分教室・後期)

学校教育目標	○基本的な人権を尊重し、幼児児童生徒の特性や発達段階、教育的ニーズに応じて幼稚園から高等部まで一貫した教育を行うことにより、健康で明るく心豊かな人間を育成する。 ○聴覚障害による学習または生活上の困難を改善克服することにより、生きる力を高め自立し積極的に社会参加できる力を培う。			
学校経営目標	① 各部間及び寄宿舎との連携を深め、社会自立と希望進路の実現のため、幼稚園から高等部専攻科まで一貫した教育を推進し、確かな学力とコミュニケーション力を基礎に、生きる力を育成する。 ② 一人一人の個性を伸ばし、豊かな人間性の育成に努め、明るく元気な特色ある学校づくりを推進する。 ③ 関係機関や地域・保護者と密に連携し、教育実践の深化を図る。 ④ 教職員の専門性及び指導力の向上に努める。 ⑤ 特別支援教育のセンター的機能の充実を図る。 ⑥ 施設・設備の整備を進め、幼児児童生徒及び職員の安全確保と教育環境の充実に努める。 ⑦ 業務負担の適正化を図る。 ⑧ コンプライアンスを徹底する。			
分教室重点目標	【幼稚園】 ① 教育内容に基づいた計画的な環境をつくることで、生活の中で直接的・具体的な体験を通して豊かな感性と心身の調和的発達を促し、人間形成の基礎を培う。 ② 聴覚活用の力を最大限に伸ばすとともに、幼児一人一人に応じたコミュニケーション手段を積極的に使いながら、生活言語の習得・拡充を図る。 ③ 保護者や関係機関との連携により聴覚障害乳・幼児の理解を深め、効果的に教育活動を展開する。 ④ 授業研究や専門性の研修を行い、個々の教師の指導力の向上と教職員間の共通理解を図る。 ⑤ 乳・幼児を中心とした早期からの教育相談・支援機能の充実を図り、聴覚障害教育のセンター的役割を果たす。 ⑥ 安全点検や校内美化活動を行い、施設設備の整備と教育関係の充実を図る。 【小学部】 ① 一人一人の児童の実態に応じた指導の充実を図り、言語力と学力を高めるとともに、社会常識やたくましい精神力、人との協調性など社会自立に必要な基礎的な力を培う。 ② 聴覚活用の力を最大限に伸ばすとともに、児童一人一人に応じたコミュニケーション手段を積極的に活用しながら、生活言語の拡充や学習言語の習得を図る。 ③ 保護者や関係機関との連携により、聴覚障害児童の理解を深め、効果的・効率的に教育活動を展開する。 ④ 授業の研究や専門性の研修を行い、個々の教師の指導力と教職員間の共同体制を高める。 ⑤ 児童を中心とした教育相談・支援機能の充実を図り、聴覚障害教育のセンター的役割を果たす。 ⑥ 安全点検や校内美化活動を行い、施設設備の整備と教育関係の充実を図る。			
4：十分達成している 3：おおむね達成している 2：どちらかという達成されていない 1：ほとんど達成されていない ※(1)と(2)は該当学部について評価する。評価(3)～(7)は学校全職員で評価する。				
目標達成のための主な取組	点数	評価%		今後に向けての課題
		前期	後期	
(1)社会自立と希望進路の実現について				
①各学部の学習目標の達成を目指し、授業改善と指導の充実に努め、確かな学力を育成する。 (評価点 前期 3.3 / 後期 3.1)	4	25	8	・各部の努力目標や学習目標を意識できるよう明示し、学習計画に反映させることができるようにする。
	3	75	92	
	2			
	1			
②家庭・寄宿舎・学校と連携し、児童生徒の基本的な生活習慣及び学習習慣の確立を図る。 (評価点 前期 3.3 / 後期 3.2)	4	31	17	
	3	69	83	
	2			
	1			
③キャリア教育を重視し、職業・就労に関する意識の啓発や意欲及び働く力の育成を図る。 (評価点 前期 3.0 / 後期 3.0)	4	8		・進路やキャリア教育に対する意識の向上を図る。研修会や学習会なども必要。
	3	83	100	
	2	8		
	1			
④食育を計画的に実践し、食への関心及び心身の成長や健康の保持・増進への意識を高める。 (評価点 前期 3.0 / 後期 3.0)	4			・給食時の指導は現在難しい状況にあるが、各部とも、サツマイモなどの植物の栽培を通じた食育には取り組んでいる。
	3	100	100	
	2			
	1			
⑤個々の適性と希望に応じた進路選択を目指し、児童生徒及び幼稚園部を含む保護者へのガイダンスに努める。 (評価点 前期 3.0 / 後期 3.0)	4	17		・進路に関する研修会や学習会を行い、知識を得る必要がある。
	3	67	100	
	2	17		
	1			
(2)個性の伸長と、豊かな人間性の育成および明るく元気な学校づくりについて				
①一人一人の教育的ニーズを把握し、個別的教育支援計画や個別の指導計画の活用を通じて、個に応じた指導の充実を図る。 (評価点 前期 3.2 / 後期 3.1)	4	15	8	
	3	85	92	
	2			
	1			
②聴覚活用の力を最大限に伸ばし、言語力、コミュニケーション力を高め、確かな日本語の獲得を目指す。 (評価点 前期 3.3 / 後期 3.2)	4	25	15	
	3	75	85	
	2			
	1			
③幼児児童生徒と教職員が挨拶を交わし、コミュニケーションの基礎をつくる。 (評価点 前期 3.2 / 後期 3.2)	4	31	23	
	3	62	77	
	2	8		
	1			
④学校行事や部活動の活性化、及び道徳教育を含む日常の教育活動を通じて、豊かな人間性の育成に努める。 (評価点 前期 3.0 / 後期 3.2)	4	8	15	
	3	83	85	
	2	8		
	1			
⑤いじめ防止については子どもたちへの定期的なアンケートを実施し、実態把握を行う。また、気になる子どもたちへの相談や聞き取りを行い、いじめの未然防止に努める。 (評価点 前期 3.0 / 後期 2.9)	4	8		・学校生活アンケートを2学期に実施していないため、評価が下がっている。3学期早々に実施する。幼児児童生徒の様子に気を配り、気になる点については、学部や学校全体で話し合う体制はできている。
	3	83	92	
	2	8	8	
	1			

目標達成のための主な取組	点数	評価%		今後に向けての課題
		前期	後期	
(3)関係機関や地域・保護者との連携強化について				
①PTA総会や各部保護者会の出席率を高め、学校の教育方針の周知・理解を促進し、連携の基礎をつくる。 (評価点 前期 3.2 / 後期 3.1)	4 3 2 1	17 83	9 91	・PTAの保護者懇談への出席率はよく、役員の保護者とも連携できている。PTAの活動状況について、職員への周知も必要。
②学校ホームページ等を通じて、情報の発信に努める。 (評価点 前期 2.8 / 後期 2.5)	4 3 2 1	8 58 33		・学習の様子をその都度掲載することができなかった。 ・行事や学習の担当者が掲載の役割を担うなどのルール作りを検討する。
③居住地校交流や近隣の学校等との交流を進め、幼児児童生徒の地域との交流を進める。 (評価点 前期 2.6 / 後期 3.2)	4 3 2 1		17 83 25 8	
(4)教職員の専門性及び指導力の向上について				
①研究授業・授業研究を計画的に実施し、授業改善および学部間の交流を図る。 (評価点 前期 2.9 / 後期 3.3)	4 3 2 1	17 58 25	25 75	
②研究推進委員会を中心に、全職員による校内研究を計画的に進める。 (評価点 前期 3.2 / 後期 3.2)	4 3 2 1	17 83	17 83	
③長期休業期間を中心に、外部講師を招聘し研修を実施する。 (評価点 前期 3.3 / 後期 3.1)	4 3 2 1	25 75	17 75 8	・夏季休業中には手話学習会を行ったが、その他は実施できなかった。2学期末に外部講師の研修会を行った。オンライン研修など、方法を考えて指導力の向上に努める。
④校外外で実施される各種研修会に積極的に参加する。 (評価点 前期 3.2 / 後期 2.9)	4 3 2 1	23 69 8	15 62 23	・授業の組み方や代教の入り方などを工夫し、研修会に参加できる体制をつくる。
(5)特別支援教育のセンター的機能の充実について				
①市内特別支援学校コーディネーターによる協議会及び大村地区特別支援教育連絡協議会において積極的な役割を果たす。 (評価点 前期 3.3 / 後期 3.1)	4 3 2 1	36 55 9	10 90	・県北地区において、支援教室の開催やCO連絡協議会への参加など、積極的な役割を果たしている。それらを一名の職員が担っているため、業務過多となっている。分業できる部分について検討する。
②教育相談(本校・派遣)を充実させ、聴覚障害のある子どもに対する地域の支援センターとしての役割を果たす。 (評価点 前期 3.3 / 後期 3.1)	4 3 2 1	42 42 17	10 90	・2学期は派遣教育相談等実施できた。
(6)施設・設備の整備と教育環境の充実について				
①学期に1回は全校の安全点検を行い、安全の確保に努める。 (評価点 前期 3.5 / 後期 3.5)	4 3 2 1	46 54	46 54	
②施設設備の点検を徹底し、必要に応じて迅速な補修・営繕に努める。 (評価点 前期 3.3 / 後期 3.2)	4 3 2 1	31 69	23 77	
(7)業務負担の適正化について				
③適切な事務処理に努め、透明性の確保を徹底する。 (評価点 前期 3.2 / 後期 3.4)	4 3 2 1	23 77	38 62	
(8)コンプライアンスの徹底について				
①服務規律強化月間の取組を中心に、服務規律の保持・徹底に努める。 (評価点 前期 3.3 / 後期 3.3)	4 3 2 1	31 69	31 69	
②各種の事故・災害に備えるため、危機管理マニュアルを点検・整備し、必要な訓練を実施する。 (評価点 前期 3.2 / 後期 3.3)	4 3 2 1	23 69 8	31 69	

令和3年度 長崎県立ろう学校学校評価保護者アンケート 9/9人 回収率 100%

(分教室)部

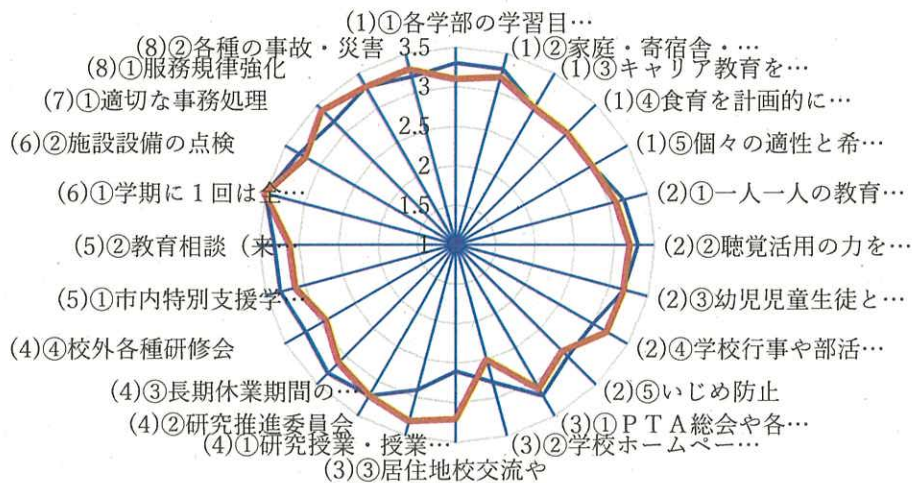
評価の欄に、下記の4~1を基準にして、あてはまる部分の欄に○を付けてください。

4:良くあてはまる 3:ややあてはまる 2あまりあてはまらない 1:まったくあてはまらない

具体的評価内容		評価%				評価	到達度(十分達成◎、概ね達成○課題あり△)
		4	3	2	1		
教育活動全般について							
1	学校は教育方針や各部の目標、特色ある教育活動を伝えてくれる。	78%	22%			3.8	○
2	学校は親身になって相談にのってくれる体制ができている。	78%	11%	11%		3.7	△
3	教員は教育活動全般において、子どもをよく理解している。	56%	44%			3.6	○
4	学校は社会生活に必要なマナーやルール等を子どもに応じて指導してくれる。	89%		11%		3.8	△
5	学校は福祉、医療、進路等に関する情報を提供してくれる。	44%	33%	22%		3.2	△
6	個に応じた分かりやすい授業の工夫がなされている。	67%	22%	11%		3.6	△
7	学校は子どもの様子(学習・生活・健康等)を知らせてくれる。	89%	11%			3.9	◎
8	子どもにあった学習内容や方法について、説明がなされている。	89%		11%		3.8	△
9	学校は、子どもが家庭や寄宿舎で取り組む学習課題を示してくれる。	89%		11%		3.8	△
10	学校や学級の雰囲気良く、子どもは楽しく生活している。	78%	11%	11%		3.7	△
11	学校行事の内容や時期は適切である。	89%	11%			3.9	◎
12	事故防止のための指導がなされている。	78%	22%			3.8	○
13	寄宿舎の活動は計画的で活気がある活動となっている。(舎生保護者の方記入)						
14	舎では年齢に応じた社会生活(挨拶や服装、社会のルール、マナー等)を身につけるような指導を行っている。(舎生保護者の方記入)						
<ul style="list-style-type: none"> ・始業式や終業式、個別面談以外でも保護者が話しやすいような雰囲気づくりを心がける。 ・分教室の進路指導体制を検討し、保護者に発信できるよう計画する。 							
教育環境について							
15	学校はよく清掃・整備されている。	80%	20%			3.8	○
16	教育に必要な施設・設備が整っている。	67%	33%			3.7	○
17	学校は子どもの健康・安全のために指導や環境整備をしてくれる。緊急の場合に備えて適切な配慮がなされている。	89%	11%			3.9	◎
18	学校内の壁面装飾や掲示物が適切になされている。	89%	11%			3.9	◎
19	寄宿舎の施設設備は、安全・健康に配慮している。(舎生保護者の方記入)						
開かれた学校について							
20	学校はPTA活動や保護者の活動に協力的である。	89%	11%			3.9	◎
21	授業参観・学級懇談等の回数は適切である。	78%	22%			3.8	○
22	学校の様子をホームページ、学校便りや学級通信でよく知らせている。	78%	22%			3.8	○
23	近隣の学校と交流活動が十分行われている。	63%	38%			3.6	○
24	学校の施設・設備等を利用しやすい。	44%	44%	11%		3.3	△
<ul style="list-style-type: none"> ・新型コロナウイルス感染症の流行により直接交流ができない状況下では、オンラインでの交流を行うなど、今後も近隣の保育所や学校と協力し、工夫して交流を行う。 ・施設設備の老朽化については、遊具の撤去等対策を行っているが、今後も安全管理を徹底し、施設等の美化に努める。 							

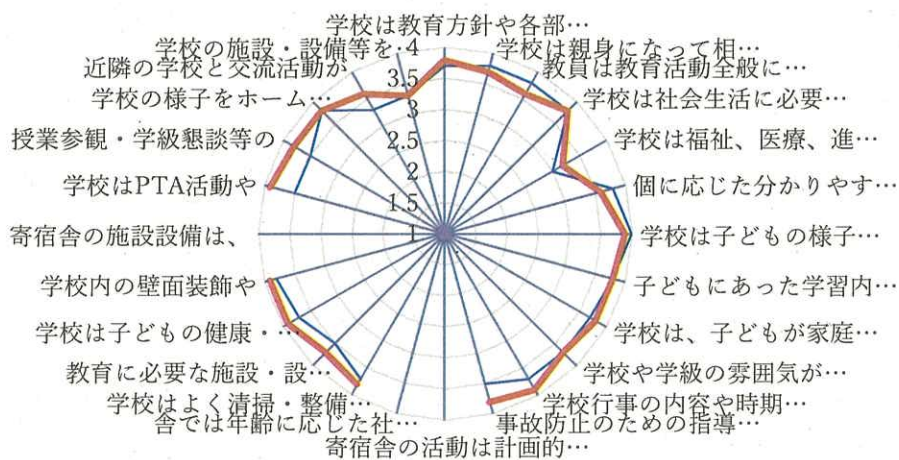
分教室

— 評価点 前期 — 評価点 後期



分教室 保護者

— 去年 — 今年



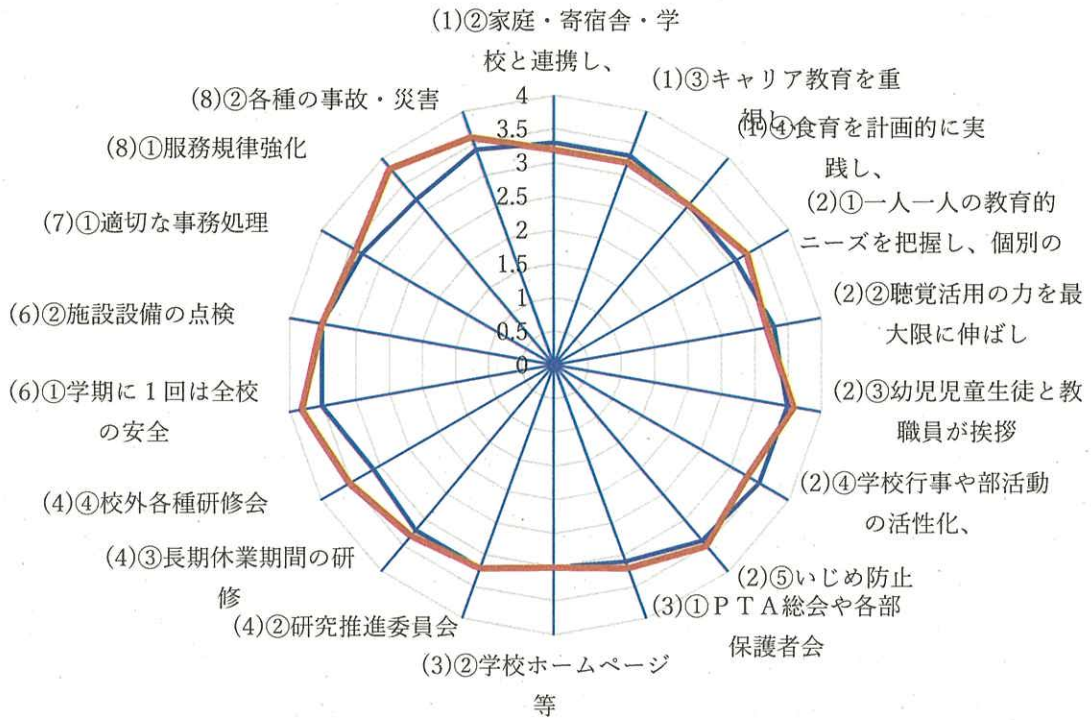
令和3年度 長崎県立ろう学校 学校評価 集計表(舎・後期)

学校教育目標	○基本的人権を尊重し、幼児児童生徒の特性や発達段階、教育的ニーズに応じて幼稚園から高等部まで一貫した教育を行うことにより、健康で明るく心豊かな人間を育成する。 ○聴覚障害による学習または生活上の困難を改善克服することにより、生きる力を高め自立し積極的に社会参加できる力を培う。			
学校経営目標	① 各部門及び寄宿舎との連携を深め、社会自立と希望進路の実現のため、幼稚園から高等部専攻科まで一貫した教育を推進し、確かな学力とコミュニケーション力を基礎に、生きる力を育成する。 ② 一人一人の個性を伸ばし、豊かな人間性の育成に努め、明るく元気な特色ある学校づくりを推進する。 ③ 関係機関や地域・保護者と密に連携し、教育実践の深化を図る。 ④ 教職員の専門性及び指導力の向上に努める。 ⑤ 特別支援教育のセンター的機能の充実を図る。 ⑥ 施設・設備の整備を進め、幼児児童生徒及び職員の安全確保と教育環境の充実に努める。 ⑦ 業務負担の適正化を図る。 ⑧ コンプライアンスを徹底する。			
寄宿舎 努力目標	① 基本的な生活習慣の確立を図る。 ② 集団生活を通して社会性の育成に努める。 ③ 学校及び保護者との連携を図る。			
4 : 十分達成している 3 : おおむね達成している 2 : どちらかという達成されていない 1 : ほとんど達成されていない ※ (1)と(2)は該当学部について評価する。評価(3)～(7)は学校全職員で評価する。				
目標達成のための主な取組	点数	評価%		今後に向けての課題
		前期	後期	
(1)社会自立と希望進路の実現について				
②家庭・寄宿舎・学校と連携し、児童生徒の基本的な生活習慣及び学習習慣の確立を図る。 (評価点 前期 3.3 / 後期 3.2)	4	27	18	
	3	73	82	
	2			
	1			
③キャリア教育を重視し、職業・就労に関する意識の啓発や意欲及び働く力の育成を図る。 (評価点 前期 3.3 / 後期 3.2)	4	27	18	
	3	73	82	
	2			
	1			
④食育を計画的に実践し、食への関心及び心身の成長や健康の保持・増進への意識を高める。 (評価点 前期 3.1 / 後期 3.1)	4	9	18	
	3	91	73	
	2		9	
	1			
(2)個性の伸長と、豊かな人間性の育成および明るく元気な学校づくりについて				
①一人一人の教育的ニーズを把握し、個別的教育支援計画や個別の指導計画の活用を通じて、個に応じた指導の充実を図る。 (評価点 前期 3.1 / 後期 3.3)	4	9	27	
	3	91	73	
	2			
	1			
②聴覚活用の力を最大限に伸ばし、言語力、コミュニケーション力を高め、確かな日本語の獲得を目指す。 (評価点 前期 3.3 / 後期 3.2)	4	27	18	
	3	73	82	
	2			
	1			
③幼児児童生徒と教職員が挨拶を交わし、コミュニケーションの基礎をつくる。 (評価点 前期 3.5 / 後期 3.6)	4	55	64	
	3	45	36	
	2			
	1			
④学校行事や部活動の活性化、及び道徳教育を含む日常的教育活動を通じて、豊かな人間性の育成に努める。 (評価点 前期 3.5 / 後期 3.3)	4	45	27	
	3	55	73	
	2			
	1			
⑤いじめ防止については子どもたちへの定期的なアンケートを実施し、実態把握を行う。また、気になる子どもたちへの相談や聞き取りを行い、いじめの未然防止に努める。 (評価点 前期 3.4 / 後期 3.5)	4	36	45	
	3	64	55	
	2			
	1			

目標達成のための主な取組	点数	評価%		今後に向けての課題
		前期	後期	
(3)関係機関や地域・保護者との連携強化について				
①PTA総会や各部保護者会の出席率を高め、学校の教育方針の周知・理解を促進し、連携の基礎をつくる。 (評価点 前期 3.1 / 後期 3.2)	4	10	18	
	3	90	82	
	2			
	1			
②学校ホームページ等を通じて、情報の発信に努める。 (評価点 前期 3.0 / 後期 3.0)	4			感染症対策のため、行事や全体での活動が少なかった。今後は普段の生活の様子についても取り上げ、寄宿舎の生活について発信する。
	3	100	100	
	2			
	1			
(4)教職員の専門性及び指導力の向上について				
②研究推進委員会を中心に、全職員による校内研究を計画的に進める。 (評価点 前期 3.2 / 後期 3.2)	4	20	18	
	3	80	82	
	2			
	1			
③長期休業期間を中心に、外部講師を招聘し研修を実施する。 (評価点 前期 3.2 / 後期 3.3)	4	20	27	
	3	80	73	
	2			
	1			
④校内外で実施される各種研修会に積極的に参加する。 (評価点 前期 3.1 / 後期 3.5)	4	10	45	
	3	90	55	
	2			
	1			
(6)施設・設備の整備と教育環境の充実について				
①学期に1回は全校の安全点検を行い、安全の確保に努める。 (評価点 前期 3.5 / 後期 3.8)	4	50	82	
	3	50	18	
	2			
	1			
②施設設備の点検を徹底し、必要に応じて迅速な補修・営繕に努める。 (評価点 前期 3.5 / 後期 3.5)	4	50	55	
	3	50	45	
	2			
	1			
(7)業務負担の適正化について				
③適切な事務処理に努め、透明性の確保を徹底する。 (評価点 前期 3.3 / 後期 3.4)	4	30	36	
	3	70	64	
	2			
	1			
(8)コンプライアンスの徹底について				
①服務規律強化月間の取組を中心に、服務規律の保持・徹底に努める。 (評価点 前期 3.2 / 後期 3.8)	4	20	82	
	3	80	18	
	2			
	1			
②各種の事故・災害に備えるため、危機管理マニュアルを点検・整備し、必要な訓練を実施する。 (評価点 前期 3.4 / 後期 3.6)	4	40	64	
	3	60	36	
	2			
	1			

寄宿舎

— 評価点 前期 — 評価点 後期



令和3年度 長崎県立ろう学校 学校評価 集計表(事 ・ 後期)

学校教育目標	○基本的人権を尊重し、幼児児童生徒の特性や発達段階、教育的ニーズに応じて幼稚園から高等部まで一貫した教育を行うことにより、健康で明るく心豊かな人間を育成する。 ○聴覚障害による学習または生活上の困難を改善克服することにより、生きる力を高め自立し積極的に社会参加できる力を培う。		
学校経営目標	① 各部門及び寄宿舎との連携を深め、社会自立と希望進路の実現のため、幼稚園から高等部専攻科まで一貫した教育を推進し、確かな学力とコミュニケーション力を基礎に、生きる力を育成する。 ② 一人一人の個性を伸ばし、豊かな人間性の育成に努め、明るく元気な特色ある学校づくりを推進する。 ③ 関係機関や地域・保護者と密に連携し、教育実践の深化を図る。 ④ 教職員の専門性及び指導力の向上に努める。 ⑤ 特別支援教育のセンター的機能の充実を図る。 ⑥ 施設・設備の整備を進め、幼児児童生徒及び職員の安全確保と教育環境の充実に努める。 ⑦ 業務負担の適正化を図る。 ⑧ コンプライアンスを徹底する。		
4 : 十分達成している 3 : おおむね達成している 2 : どちらかという達成されていない 1 : ほとんど達成されていない ※ (1)と(2)は該当学部について評価する。評価(3)～(7)は学校全職員で評価する。			
目標達成のための主な取組	点数	評価%	今後に向けての課題
		前期 後期	
(3)関係機関や地域・保護者との連携強化について			
①PTA総会や各部保護者会の出席率を高め、学校の教育方針の周知・理解を促進し、連携の基礎をつくる。 (評価点 前期 3.3 / 後期 3.1)	4	50	14
	3	33	86
	2	17	
	1		
保護者とは、就学奨励費事務等を通じて個別の連携はとれている。			
②学校ホームページ等を通じて、情報の発信に努める。 (評価点 前期 3.3 / 後期 3.4)	4	50	43
	3	33	57
	2	17	
	1		
(4)教職員の専門性及び指導力の向上について			
③長期休業期間を中心に、外部講師を招聘し研修を実施する。 (評価点 前期 3.0 / 後期 3.1)	4	17	14
	3	67	86
	2	17	
	1		
例年行われていた各研修会が書面開催や中止となった。			
④校内外で実施される各種研修会に積極的に参加する。 (評価点 前期 3.0 / 後期 3.0)	4	17	
	3	67	100
	2	17	
	1		
同上			
(6)施設・設備の整備と教育環境の充実にについて			
①学期に1回は全校の安全点検を行い、安全の確保に努める。 (評価点 前期 3.5 / 後期 3.4)	4	50	43
	3	50	57
	2		
	1		
②施設設備の点検を徹底し、必要に応じて迅速な補修・営繕に努める。 (評価点 前期 3.5 / 後期 3.7)	4	50	71
	3	50	29
	2		
	1		
(7)業務負担の適正化について			
③適切な事務処理に努め、透明性の確保を徹底する。 (評価点 前期 3.5 / 後期 3.4)	4	50	43
	3	50	57
	2		
	1		
(7)コンプライアンスの徹底について			
①服務規律強化月間の取組を中心に、服務規律の保持・徹底に努める。 (評価点 前期 3.3 / 後期 3.3)	4	50	29
	3	33	71
	2	17	
	1		
②各種の事故・災害に備えるため、危機管理マニュアルを点検・整備し、必要な訓練を実施する。 (評価点 前期 3.3 / 後期 3.4)	4	50	43
	3	33	57
	2	17	
	1		

事務室

— 評価点 前期 — 評価点 後期

